

# 桜川市 市道整備の考え方（案）

～安全・安心な市道の整備を目指して～

令和 7 年 2 月

桜 川 市

<b>序章 調査の目的</b>	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の流れ	2
<b>1. 前提条件の整理</b>	3
1) 桜川市の概況	3
2) 市道の状況整理	11
<b>2. 市道整備の考え方の整理</b>	13
1) 市道整備の考え方の検討	13
2) 評価項目等の設定	14
<b>3. 視点に合致した市道の抽出</b>	16
1) 市道の抽出	16
2) 抽出市道の整理	17
<b>4. 市道整備に係る評価シートの作成</b>	40
1) 評価シートの目的	40
2) 評価項目と評価基準の検討	40
3) 評価シートの作成	41

## 序章 調査の目的

### 1) 調査の目的

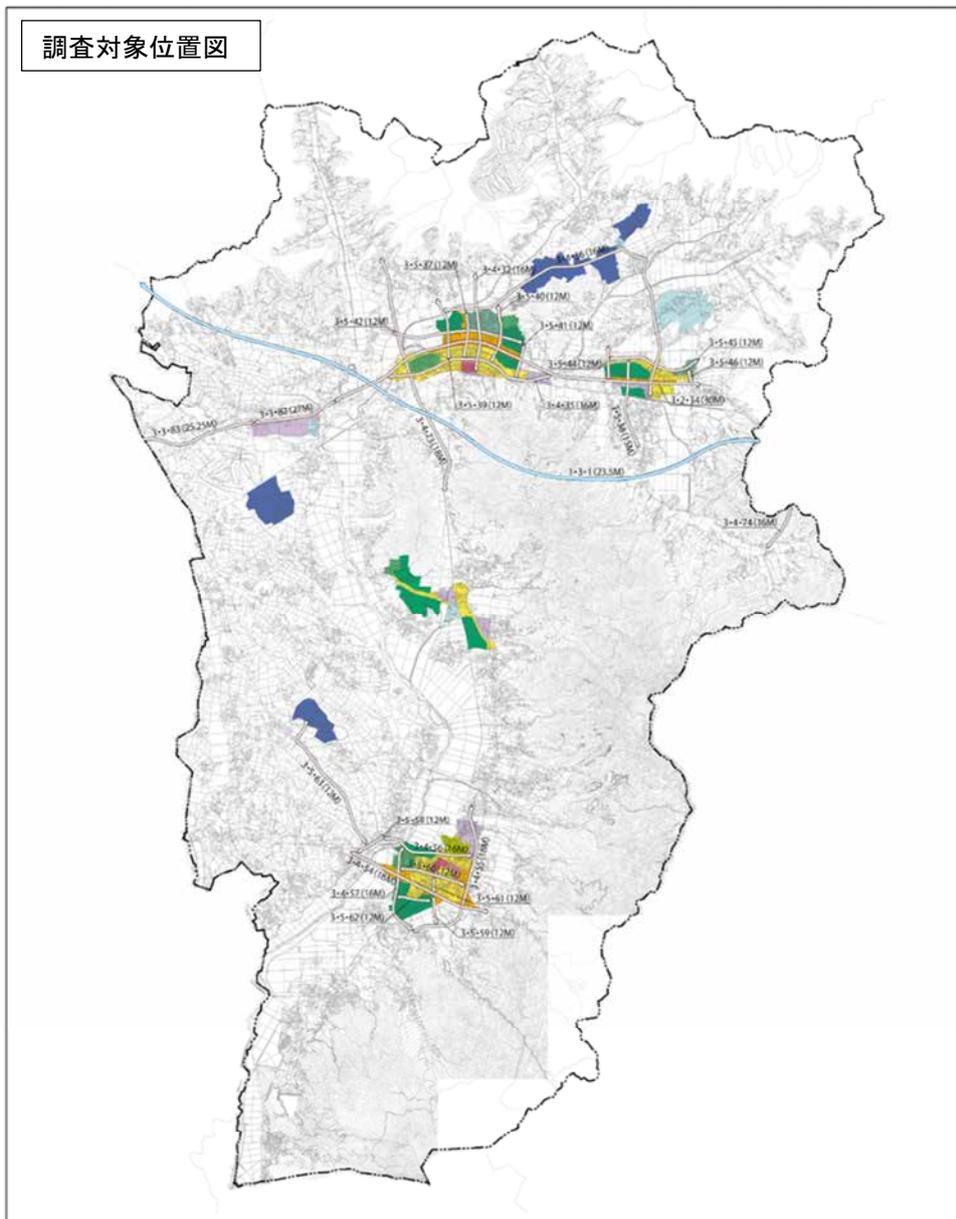
桜川市では、6,414 路線（1,503km）が市道として認定されている。

市道を含む道路は、日々の生活や経済活動などを支える重要な公共施設であるとともに、近年、甚大化する災害時の避難路や緊急輸送路としても重要な役割を担っている。

一方で、人口減少などにより、将来的な市行政の人的及び財政的なひっ迫が予想されるなか、市道の維持管理費は経年変化とともに増加することが予想され、このままでは市道の適切な整備や維持が困難となるおそれがある。

本業務は、市道の整備（道路機能の向上・回復のために改良や拡幅改良すること）について、限りある財源を有効に活用し、公平で効率的な整備を進めるため、市道を整備する際の根拠となる資料を作成することを目的とする。

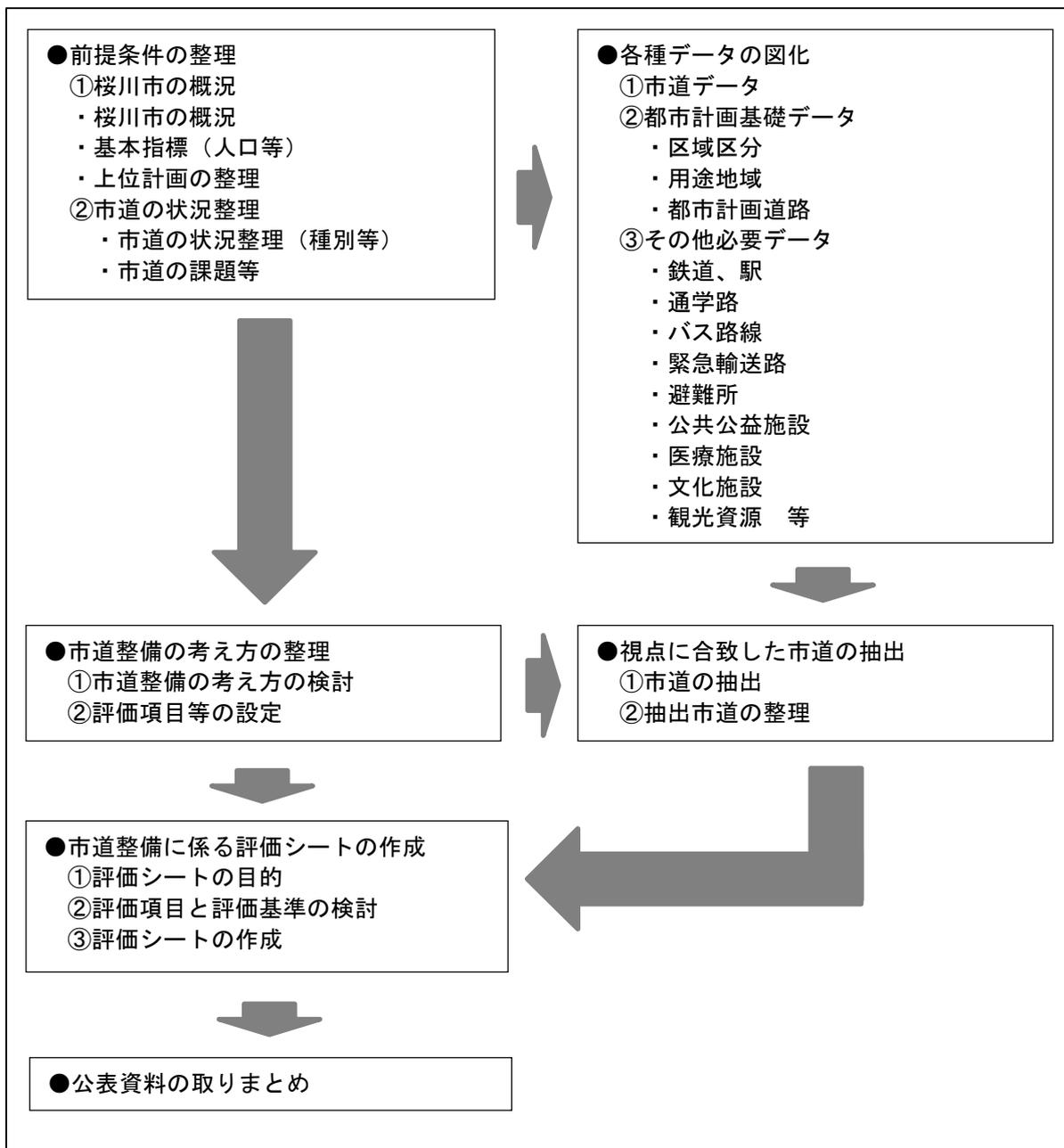
#### ■調査対象：桜川市全域の市道



## 2) 調査の流れ

本調査については、次のとおり実施する。

### ■調査の流れ



# 1. 前提条件の整理

## 1) 桜川市の概況

### (1) 桜川市の概況

桜川市は、平成 17 年 10 月 1 日に岩瀬町、真壁町、大和村の 2 町 1 村が合併して誕生した。

茨城県の中西部、都心から 80km 圏内に位置あり、北は栃木県の真岡市、益子町、茂木町、南はつくば市、東は笠間市と石岡市、西は筑西市に接し、180.06 平方キロメートルの面積を有している。

交通条件は、東西方向に JR 水戸線が通っており、岩瀬駅、羽黒駅、大和駅が設置され、北関東自動車道が通り、桜川筑西インターチェンジが設置されているほか、広域幹線道路として、東西方向の周辺市とを結ぶ国道 50 号が通っている。

地勢条件は、北の高峯・富谷山、東の雨引山・加波山・足尾山から南の筑波山といった山々に囲まれ、平地中央部を桜川が流れている。

### ■位置図



## (2) 基本指標

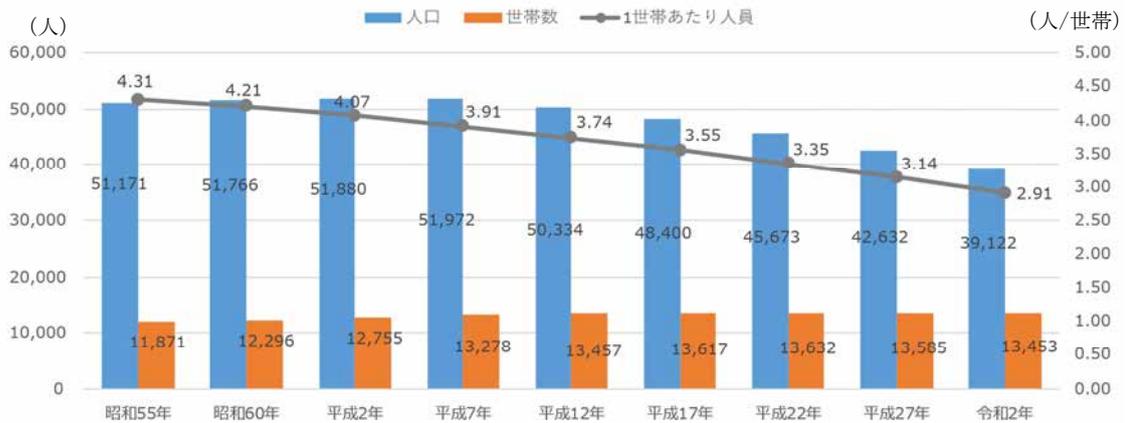
### ①人口・世帯

人口は平成7年をピークとし、それ以降は減少傾向にあり、世帯数は昭和55年以降緩やかに増加し、一世帯当たりの人員は減少傾向にある。

また、年齢別人口推移については15歳未満の人口割合が減少しているのに対し、65歳以上の人口割合が増加しており、少子高齢化の傾向にある。

さらに、国立社会保障・人口問題研究所による人口の将来推計を見ると、今後も人口減少・高齢化が進行すると見込まれている。

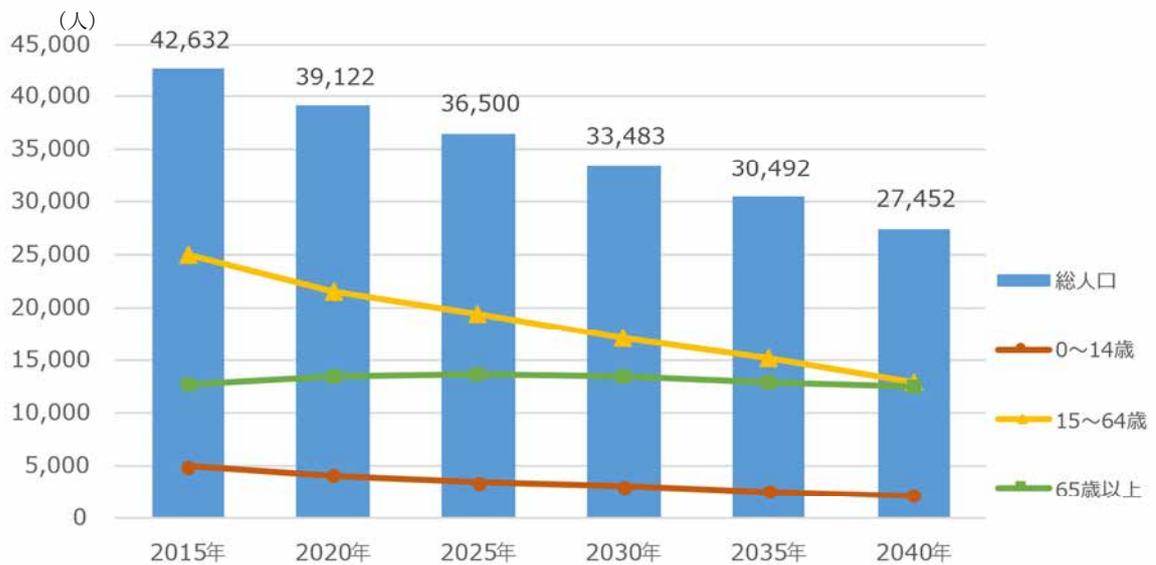
### ■人口及び世帯数の推移



資料：国勢調査（昭和55年～令和2年）

※昭和55年～平成12年は旧岩瀬町，旧真壁町，旧大和村の3町村の合計値とする。

### ■人口の将来推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

※2015年，2020年は国勢調査による実績値

## ②人口（桜川市人口ビジョン 2022 年改訂版）

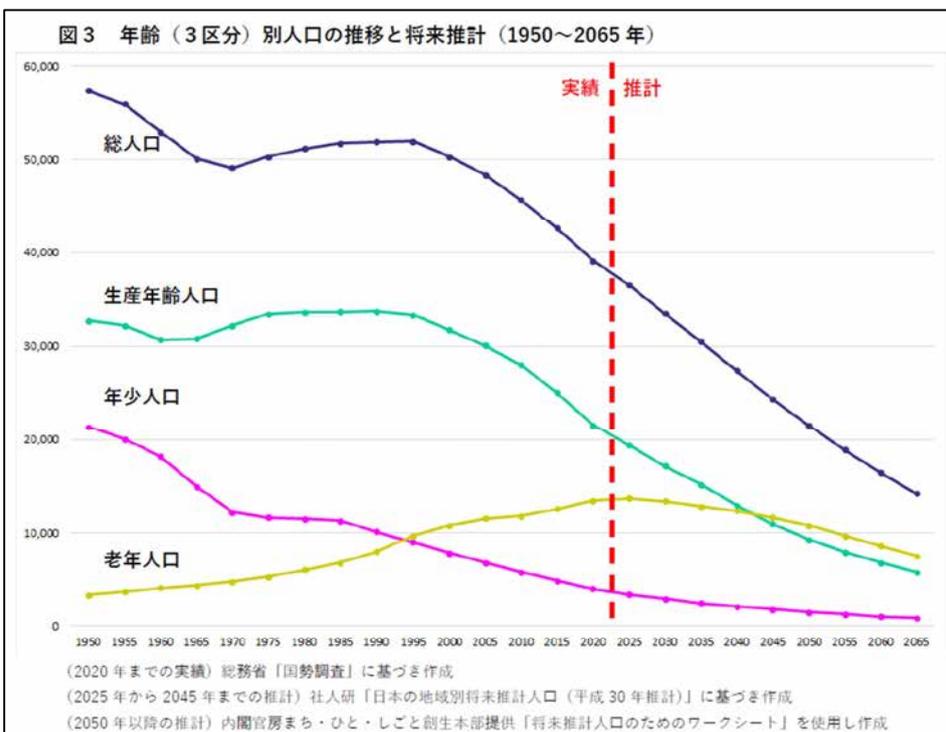
人口の将来推計については、桜川市人口ビジョン 2022 年改訂版（令和 4 年 3 月 1 日）において、2065 年（令和 47 年）までの推計が行われており、その推計によると 2065 年には 14,183 人となり、2020 年（令和 2 年）の人口の約 3 分 1 まで減少すると見込まれている。

### ■総人口の推移と将来推計



資料：桜川市人口ビジョン（2022 年改訂版）令和 4 年 3 月 1 日

### ■年齢別人口の推移と将来推計



資料：桜川市人口ビジョン（2022 年改訂版）令和 4 年 3 月 1 日

### ③人口流動

転出・転入者数は、転出が転入を上回る転出超過傾向であり、県内都市との関係として転出入者数が多い都市を見ると、本市に隣接する筑西市やつくば市との関わりが強く、県外との関係では、隣接する栃木県との関わりが強い傾向にある。

通勤・通学者数も、流出が流入を上回る流出超過傾向にあり、県内都市との関係では近隣の筑西市やつくば市、笠間市との流動が多い。県外との関係では、栃木県真岡市や小山市、東京都特別区部との流動が多い。

#### ■年間転入・転出者数

	県内からの転入			県外からの転入		
		1位	2位		1位	2位
桜川市 への転入	389人	筑西市 133人	つくば市 49人	386人	栃木県 65人	東京都 62人

	県内への転出			県外への転出		
		1位	2位		1位	2位
桜川市 からの転出	602人	筑西市 186人	つくば市 102人	484人	東京都 116人	埼玉県 62人

資料：常住人口調査(令和3年)

#### ■年間通勤・通学者数

	県内からの流入			県外からの流入		
		1位	2位		1位	2位
通勤	4,197人	筑西市 2,281人	笠間市 715人	711人	栃木県真岡市 294人	栃木県益子町 130人
通学	593人	筑西市 276人	結城市 80人	129人	栃木県真岡市 89人	栃木県益子町 18人

	県内への流出			県外への流出		
		1位	2位		1位	2位
通勤	7,420人	筑西市 3,388人	つくば市 1,297人	1,165人	栃木県真岡市 421人	栃木県小山市 206人
通学	922人	筑西市 400人	つくば市 45人	247人	東京都特別区部 64人	栃木県小山市 36人

資料：国勢調査(令和2年)

### (3) 上位計画の整理

#### ①桜川市第2次総合計画 後期基本計画（令和4年3月）

平成29年3月に10年間のまちづくりの指針となる「桜川市第2次総合計画」が策定されている。

令和4年度から令和8年度までを期間とする後期基本計画（令和4年3月）における、道路等に関する施策は次のとおりである。

#### まちの将来像

『ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち 桜川』

#### 第3部 後期基本計画

##### 5-3 道路網の整備

##### ■施策の目指す姿

利用者が安全で快適に通行できる環境が整っている。

##### ■施策の目標指標

	分類	指標名	現状値 (2020年度)	目標値 (2026年度)
①	活動指標	道路未改良延長(一級・二級市道)	19,008m	16,000m
②	成果指標	市内の道路が安全だと感じる市民の割合	25.1%	35.1%
③	活動指標	危険箇所数(通学路)	8件	3件

##### ■現状

- ・本市の道路網は、市を東西に横断する北関東自動車道、国道50号線、主要地方道石岡筑西線、南北に縦断する主要地方道つくば益子線、一般県道東山田岩瀬線等、広域都市圏を結ぶ広域交通ネットワークと市内各地域間を結ぶ市道幹線道路ネットワークを中心とし、市民の日常生活に欠かせない生活基盤になっています。
- ・各行政区から多くの陳情・要望を受けて、必要性・緊急性を勘案し道路整備を実施しています。
- ・道路の損傷や危険箇所の把握に努め、その改善に取り組んでいます。
- ・広域都市圏を結ぶ国・県道の整備促進を図るため、国や県との連携の強化に努めています。

##### ■課題

- ・市民からの道路整備に関する期待水準は高く、社会環境に応じた市民生活に資する道路網の整備を図る必要があります。
- ・道路整備に関し、各行政区から多くの陳情・要望が出されていることから、必要性・緊急性を勘案し、優先順位を決めて取り組んでいく必要があります。
- ・道路の陥没や亀裂などについては、道路の安全確保のため、迅速な補修を行う必要があります。

##### ■施策の目指す姿を実現するための手段

###### 《5-3-1 市道の整備》

◎市民の生活基盤となっている市道幹線道路の整備

◎市民生活に密着した生活道路の整備

###### 《5-3-2 市道の維持管理、危険個所の改修》

◎市道の適切な維持管理

◎道路施設の長寿命化

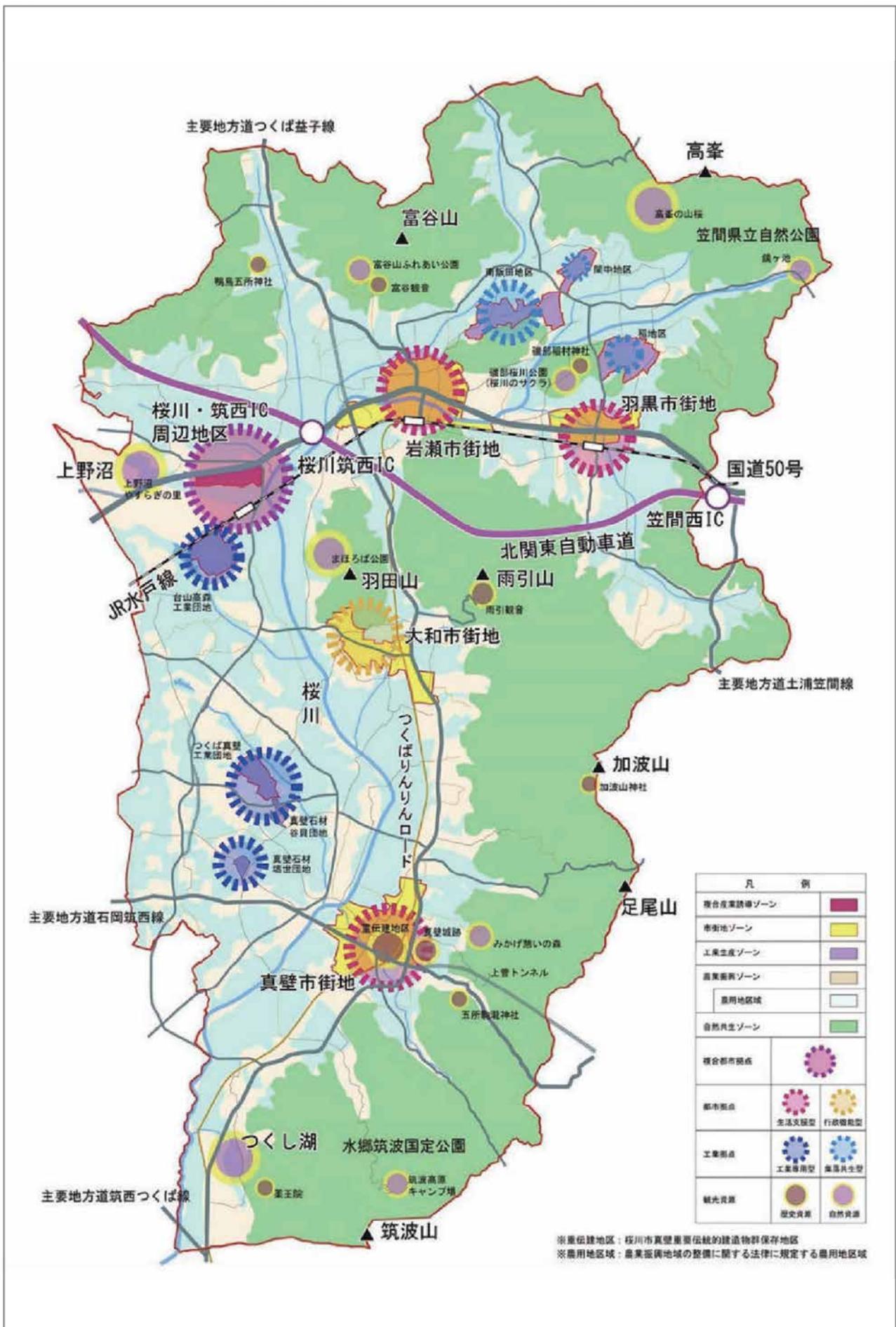
◎市道の危険箇所の改修

###### 《5-3-3 国道・県道の整備促進》

広域都市圏との移動がスムーズに行えるよう、国や県との連携強化を図ります。

◎国道50号の整備促進

◎主要地方道つくば益子線・石岡筑西線（上曾トンネル周辺整備）、一般県道東山田岩瀬線等の整備促進



## ②桜川田園都市づくりマスタープラン（平成 31 年 2 月）

桜川田園都市づくりマスタープランは、都市計画マスタープランと土地利用基本計画それぞれの役割を兼ね備えたマスタープランであり、道路等に関する計画は次のとおりである。

### 目標人口

2040 年（令和 22 年）：おおむね 30,000 人

### 【第 2 章 桜川市の目指すべき将来都市像】

#### 【都市づくりの視点】

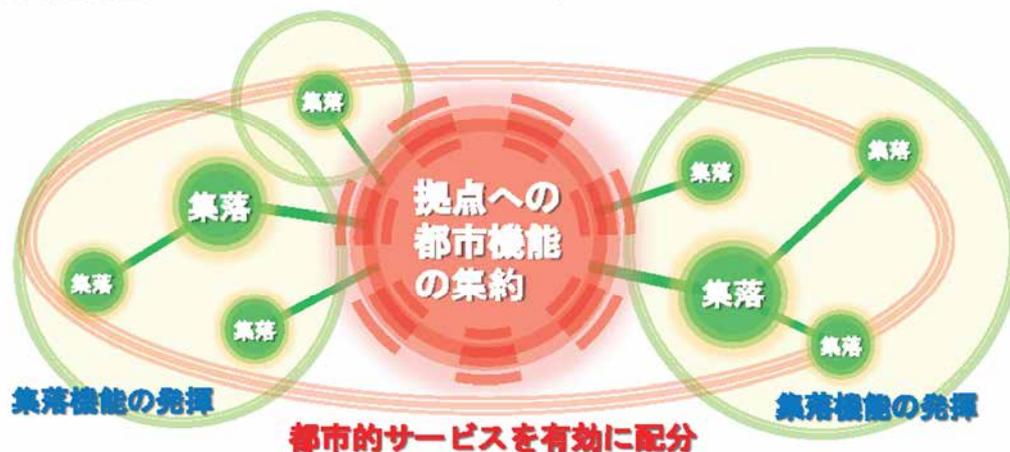
【集約と連携】（コンパクト+ネットワーク）の都市づくり

#### 都市計画の基本方向

#### 【目指すべき将来都市構造】

〈機能集約〉と〈多核連携〉による《集約連携型コンパクトシティ》

#### 【集約連携型コンパクトシティのイメージ】



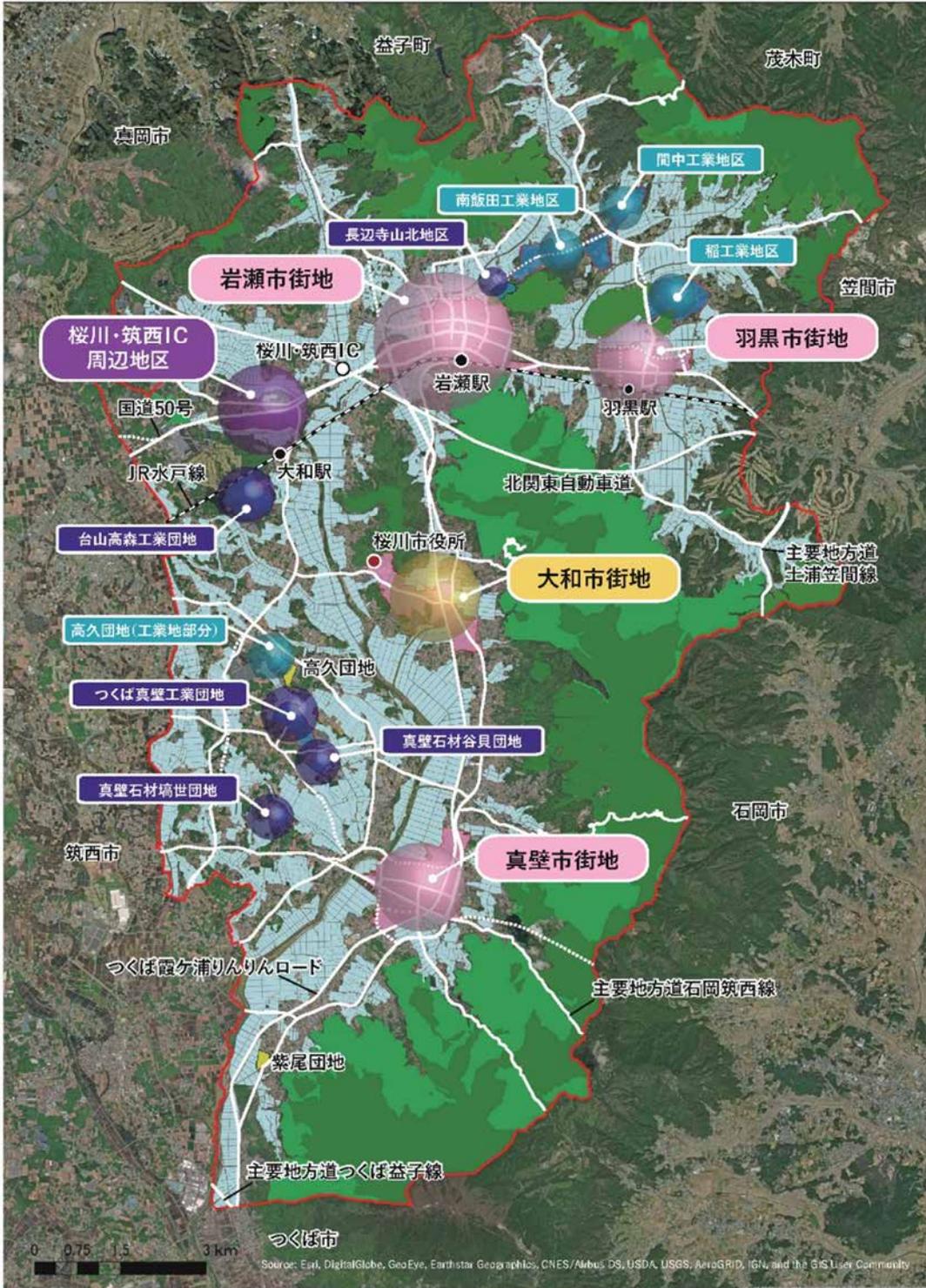
## 4. 交通ネットワークの構築

### (1) 道路交通ネットワークの構築

桜川市における道路交通ネットワークは、集落から直近の都市拠点まで自家用車による移動時間 10 分を標準とする合理的なネットワークが形成されています。

したがって、道路交通ネットワークの構築に当たっては、既存の道路の維持・管理や、狭あい区間の改良、交通安全施設の整備などを基本としつつ、新たな路線の整備は、幹線道路のバイパス区間（国道 50 号協和バイパス、主要地方道石岡筑西線上曾トンネル等）や、拠点となるべき市街地の基軸となる道路（市道 0141 号線等）など、市の目指す《集約連携型コンパクトシティ》の形成に資する路線に限定することとします。

■ 目指すべき将来都市構造（集約連携型コンパクトシティ）のビジョン



- |   |                       |   |                       |   |               |
|---|-----------------------|---|-----------------------|---|---------------|
|  | 複合都市拠点<br>(高次都市機能)    |  | 行政機能型都市拠点<br>(行政機能)   |  | 行政区域          |
|  | 生活支援型都市拠点<br>(生活支援機能) |  | 工業専用型工業拠点<br>(工業生産機能) |  | 住居系市街化区域      |
|  | 集落共生型工業拠点<br>(工業生産機能) |   |                       |  | 工業系市街化区域      |
|   |                       |   |                       |  | 複合産業系市街化区域    |
|   |                       |   |                       |  | 5ha以上の郊外型住宅団地 |
|   |                       |   |                       |  | 5ha以上の工業施設集積地 |
|   |                       |   |                       |  | 農用地区域         |
|   |                       |   |                       |  | 保安林           |
|   |                       |   |                       |  | 自然公園・自然環境保全地域 |
|   |                       |   |                       |  | 白線<br>主な道路    |

## 2) 市道の状況整理

### (1) 市道の状況整理

桜川市は、平成 17 年 10 月 1 日に岩瀬町、真壁町、大和村の 2 町 1 村が合併して誕生した。

市道については、それぞれの町村で認定されていた全ての道路が桜川市市道となっており、現在 6,414 路線 (1,503km) が認定されている。

市道 (6,414 路線) の種別については、1 級市道が 32 路線、2 級市道が 40 路線、その他路線が 5,731 路線、未供用路線が 611 路線となっている。

#### ■市道の種別

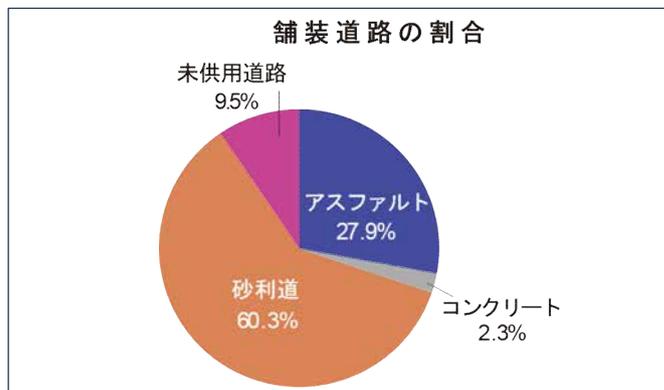
(路線)

項目	幅員					未供用	総計
	1.5m未満	1.5m以上 2.5m未満	2.5m以上 4.5m未満	4.5m以上 6.5m未満	6.5m以上		
1 級路線	0	5	0	11	16	0	32
2 級路線	0	7	0	28	5	0	40
その他路線	314	2,580	2,102	611	124	0	5,731
未供用道路	0	0	0	0	0	611	611
総計	314	2,592	2,102	650	145	611	6,414

資料：R05 桜川市道路台帳補正データに基づき作成

舗装状況については、舗装 (アスファルト、コンクリート) 道路が約 30%、未舗装 (砂利道) 道路が約 60%、未供用道路が約 10% で、未舗装道路の割合が高い状況となっている。

#### ■市道の舗装状況



資料：R05 桜川市道路台帳補正データに基づき作成

また、市道の拡幅整備などに関する陳情の状況は次のとおりとなっている。

#### ■市道整備に関する陳情数

※再要望含む

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	計
岩瀬地区	17 件	10 件	9 件	5 件	41 件
大和地区	3 件	5 件	4 件	2 件	14 件
真壁地区	1 件	3 件	2 件	1 件	7 件
計	21 件	18 件	15 件	8 件	62 件

資料：桜川市建設課提供 (令和 7 年 1 月 10 日) データに基づき作成

## (2) 市道の課題等

桜川市の市道の特徴としては、山間の幅員が狭い市道や未舗装の市道が多いことがあげられ、市道の課題については、「桜川市第2次総合計画後期基本計画（令和4年3月）」の5-3 道路網の整備において整理されている。

### 【桜川市第2次総合計画後期基本計画（令和4年3月）】

#### 第3部 後期基本計画

##### 5-3 道路網の整備

###### ■課題

- ・市民からの道路整備に関する期待水準は高く、社会環境に応じた市民生活に資する道路網の整備を図る必要があります。
- ・道路整備に関し、各行政区から多くの陳情・要望が出されていることから、必要性・緊急性を勘案し、優先順位を決めて取り組んでいく必要があります。
- ・道路の陥没や亀裂などについては、道路の安全確保のため、迅速な補修を行う必要があります。

また、人口減少などにより、将来的な市行政の人的及び財政的なひっ迫が予想されるなか、市道の維持管理費は経年変化とともに増加することが予想されるため、このままでは市道の適切な整備や維持ができなくなるおそれがある。

これらのことから、市道の整備については、市道の必要性や緊急性、事業効率などを公平に判断し、整備順位を定めて整備を進める必要があるため、その優先性を定める評価方法や視点などについて、「市道整備の考え方」として整理する。

## 2. 市道整備の考え方の整理

### 1) 市道整備の考え方の検討

桜川市の状況や市道の課題などを踏まえ、市道整備の考え方（基本方針）について整理する。

評価方法は、下記に示すとおり、段階的に評価する方針とする。

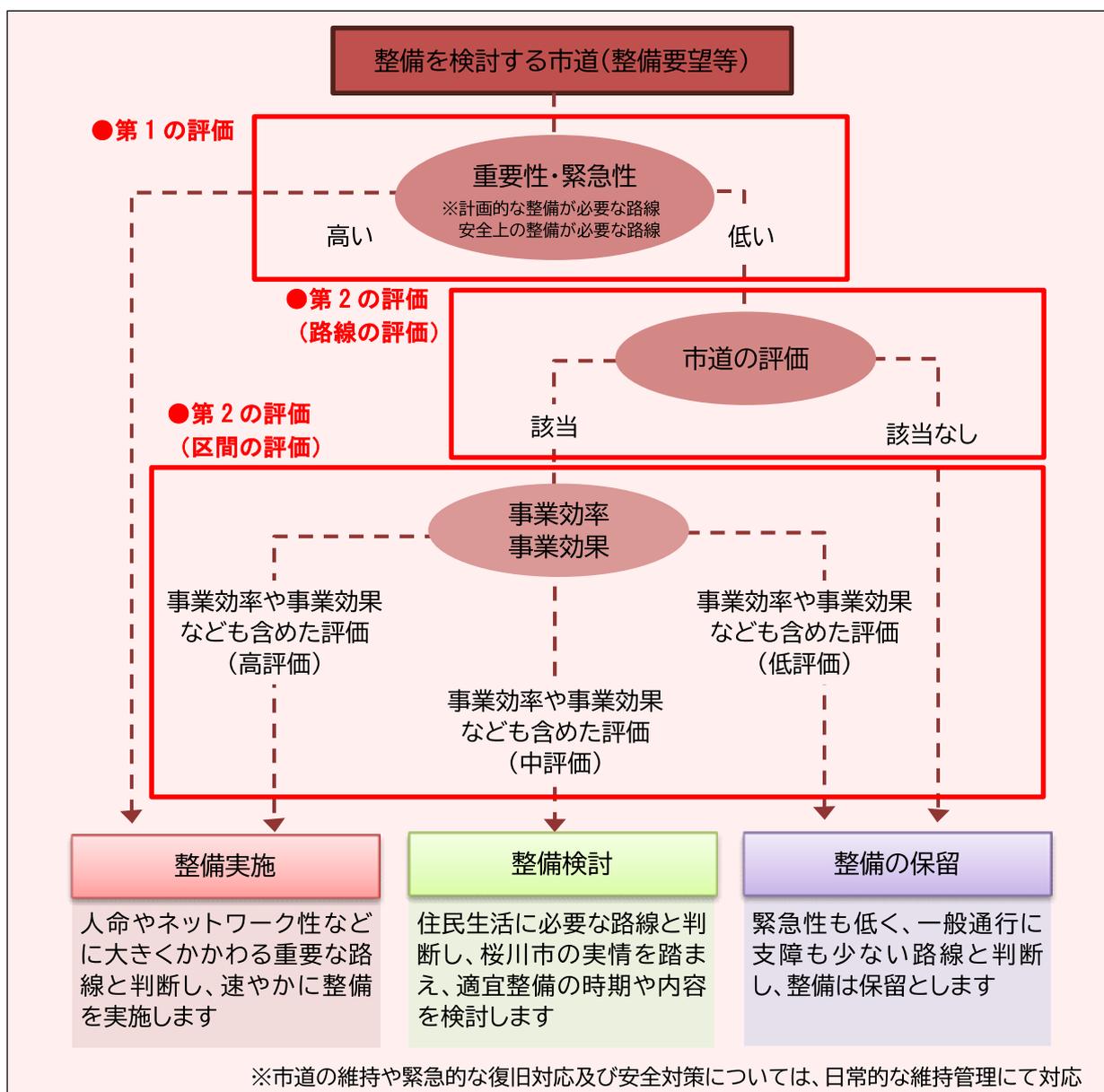
第1の評価においては、計画的な整備や安全上の理由から速やかに整備が必要な場合など、特に例外的に整備を進める必要があるかを評価する。

第2の評価においては、市道の整備に関する優先性を公平に判断するための“視点”を定め、視点と合致するかどうかを評価し、基本的に第2の評価において、視点に合致しなかった市道については、市道の整備を保留とする。

第3の評価は、視点に合致している市道であることを前提に整備区間（箇所）の具体的な事業効率や事業効果などを評価し、最終的な市道整備の実施・検討・保留について評価する。

なお、市道の維持や緊急的な復旧対応及び安全対策については、日常的な維持管理にて対応する。

#### ■市道の整備順位が決まるまでのフロー



## 2) 評価項目等の設定

各段階の評価項目などについて、次のように設定する。

### (1) “第1の評価” の評価項目等

第1の評価においては、計画的な整備や安全上の理由から速やかに整備が必要な場合など、特に例外的に整備を進める必要があるかを評価する。

具体的には、都市計画マスタープランに位置づける広域的なネットワーク形成に必要な場合や人命に関わるような危険性により速やかに安全上の対策が必要な場合を想定する。

### (2) “第2の評価” の評価項目等

第2の評価においては、市道の整備に関する優先性を公平に判断するための“視点”を定め、視点と合致するかどうかを評価する。

具体的には、全市道を対象として、市道の路線単位で判断の視点に合致した市道を抽出する。

なお、判断のための視点については、桜川市を構成する要素を都市計画的に分類し、面的要素（区域区分や用途地域等）、線的要素（通学路や緊急輸送道等）、点的要素（公共公益施設や医療施設等）として整理した上で、複数の視点を組み合わせて、“判断のための7つの視点”として定める。

#### ■桜川市を構成する要素

区 分	要 素
面的要素	区域区分（市街化区域・市街化調整区域）、用途地域、地区計画、ハザードマップ（土砂災害、浸水深）等
線的要素	狭隘道路、通学路、自転車路線、緊急輸送路、都市計画道路、鉄道・駅、バス路線、交通量、等
点的要素	避難所、公共公益施設、公園、駐車場、物流拠点、医療機関、文化施設、金融施設、買い物施設、ガソリンスタンド、観光資源 等

#### ■判断のための7つの視点

項 目	視 点	判断材料となる要素
ネットワーク性	となりの“まち”や市内の公共施設などの要所をつなぐ視点	鉄道・駅、バス路線、公共公益施設、買い物施設等
安全性	日々の生活だけでなく緊急時や災害時を含めた安全・安心の視点	緊急輸送路、通学路、避難所、医療機関、学校等
生活利便性	買い物施設や医療機関など、日常生活に必要な施設をつなぐ視点	バス路線、公共公益施設、医療機関、買い物施設、金融施設等
まちなかの利便性	多くの人が暮らす“まちなか”において、買い物施設や医療機関など、日常生活に必要な施設をつなぐ視点	用途地域、バス路線、公共公益施設、医療機関、買い物施設、金融施設等
持続的なまちづくり	人口密度や利用頻度に応じた持続可能なまちづくりを進めるための視点	鉄道・駅、バス路線、避難所、医療機関等
まちなかのみちづくり	多くの人が暮らす“まちなか”において、人口密度や利用頻度に応じた持続可能なまちづくりを進めるための視点	用途地域、鉄道・駅、バス路線、避難所、医療機関等
地域特性	桜川市の歴史や文化、観光資源などをつなぐ視点	鉄道・駅、バス路線、自転車路線、文化施設、観光資源等

(3) “第3の評価”の評価項目等

第3の評価は、視点に合致している市道であることを前提に整備区間（箇所）の具体的な事業効率や事業効果などを評価し、最終的な市道整備の実施・検討・保留について評価する。

具体的には、事業効果及び事業効率の面から次のとおり評価項目を定める。

■評価項目

項 目		判断の基準
事業効果	整備の考え方との整合	判断のための7つの視点との整合数を確認
	緊急性の有無	一般交通への支障の有無により判断
	利用頻度の有無	現況又は整備後の交通量の増加の有無により判断
事業効率	用地買収の有無	用地買収の有無により判断 ※用地買収への協力が前提
	補償物件の有無	補償物件の有無により判断 ※補償物件の種類も確認
	放流先の有無	放流先の有無により判断
	埋設物の有無	埋設管の有無により判断 ※既設管の有無も確認
	設計発注の有無	設計業務の発注の有無により判断

### 3. 視点に合致した市道の抽出

#### 1) 市道の抽出

桜川市の全市道を対象として、市道の路線単位で“判断のための7つの視点”に合致した市道を抽出する。

なお、抽出の際に各要素の根拠として使用したデータは次とおりである。

#### ■使用データ一覧

番号	項目	詳細	データ根拠等	
基礎	現況図		令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	市道データ		R5桜川市道路台帳補正データ	
面的要素	区域区分	都市計画区域、市街化区域・市街化調整区域	令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	用途地域	用途界	令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	重伝建地区	真壁伝統的建築物群保存地区	令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	地区計画		令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	災害ハザードマップ	土砂災害区域		R4都市計画基礎調査データ
浸水想定区域			浸水想定データ	
線的要素	狭隘道路	市道データ読み取り	R5桜川市道路台帳補正データ	
	通学路		24.09.18市提供資料	
	自転車路線	つくば霞ヶ浦りんりんロード	R4都市計画基礎調査データ	
	緊急輸送路	緊急輸送道路	R4都市計画基礎調査データ	
	都市計画道路		令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ	
	鉄道・駅	東日本旅客鉄道水戸線	R4都市計画基礎調査データ	
	バス路線	バス停、コミュニティバス路線	桜川市HP（桜川市バス「ヤマザクラGO」）	
	交通量	車	R3全国道路・街路交通情勢調査データ	
点的要素	避難所	指定緊急避難所、指定避難所、福祉避難所	R4都市計画基礎調査データ 桜川市HP（浸水ハザードマップ） 桜川市HP（土砂災害ハザードマップ）	
		公共公益施設	官公署、学校、病院、郵便局、社会福祉施設等	国土数値情報
		公園	都市計画決定されているもの	令和4年度桜川市都市計画図デジタル化業務データ R4都市計画基礎調査データ
	駐車場	公営、民営	GoogleEarth	
	医療機関	診療所、病院		国土数値情報 桜川市HP（桜川市内の医療機関一覧）
			文化施設	美術館、資料館、記念館、博物館、科学館、図書館、水族館、動植物園、スポーツ施設
	金融施設	銀行、信用金庫	GoogleEarth	
	買い物施設	ショッピングセンター、スーパー、コンビニ、薬局、ドラッグストア等	GoogleEarth	
	ガソリンスタンド		GoogleEarth	
	観光資源	神社仏閣、自然、景観	日本の神社・寺院検索サイト、GoogleEarth	

## 2) 抽出市道の整理

桜川市の市道 6,414 路線について、“判断のための 7 つの視点”に基づき精査した結果、384 路線が 1 つ以上の視点に該当した。(抽出：令和 7 年 1 月 30 日時点)

なお、市道整備に係る評価においては、複数の視点を組み合わせることによる多角的な視点を重視するため、合致した視点の数に応じた評価を行う。

### ■視点に合致した市道数（該当数）

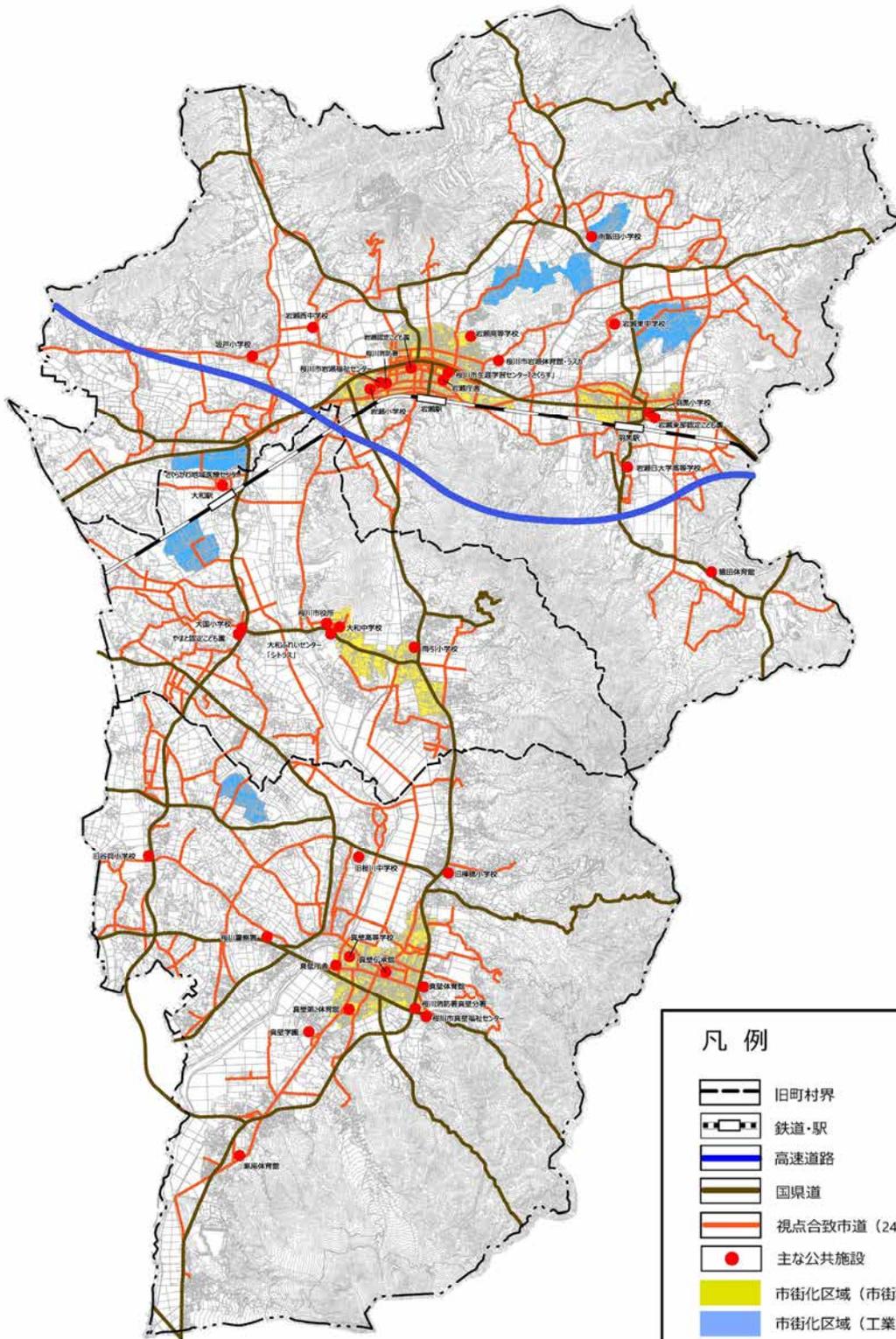
該当する視点の数	該当した路線数
1 つ該当	1 1 4 路線
2 つ該当	1 3 路線
3 つ該当	1 7 路線
4 つ該当	1 0 4 路線
5 つ該当	7 7 路線
6 つ該当	5 0 路線
7 つ該当	9 路線
合 計	3 8 4 路線

### ■視点に合致した市道数（視点毎）

項 目	視 点	視点に合致した路線数
ネットワーク性	となりの“まち”や市内の公共施設などの要所をつなぐ視点	2 4 0 路線
安全性	日々の生活だけでなく緊急時や災害時を含めた安全・安心の視点	9 5 路線
生活利便性	買い物施設や医療機関など、日常生活に必要な施設をつなぐ視点	2 7 1 路線
まちなかの利便性	多くの人が暮らす“まちなか”において、買い物施設や医療機関など、日常生活に必要な施設をつなぐ視点	8 5 路線
持続的なまちづくり	人口密度や利用頻度に応じた持続可能なまちづくりを進めるための視点	2 5 3 路線
まちなかのみちづくり	多くの人が暮らす“まちなか”において、人口密度や利用頻度に応じた持続可能なまちづくりを進めるための視点	5 7 路線
地域特性	桜川市の歴史や文化、観光資源などをつなぐ視点	3 5 4 路線

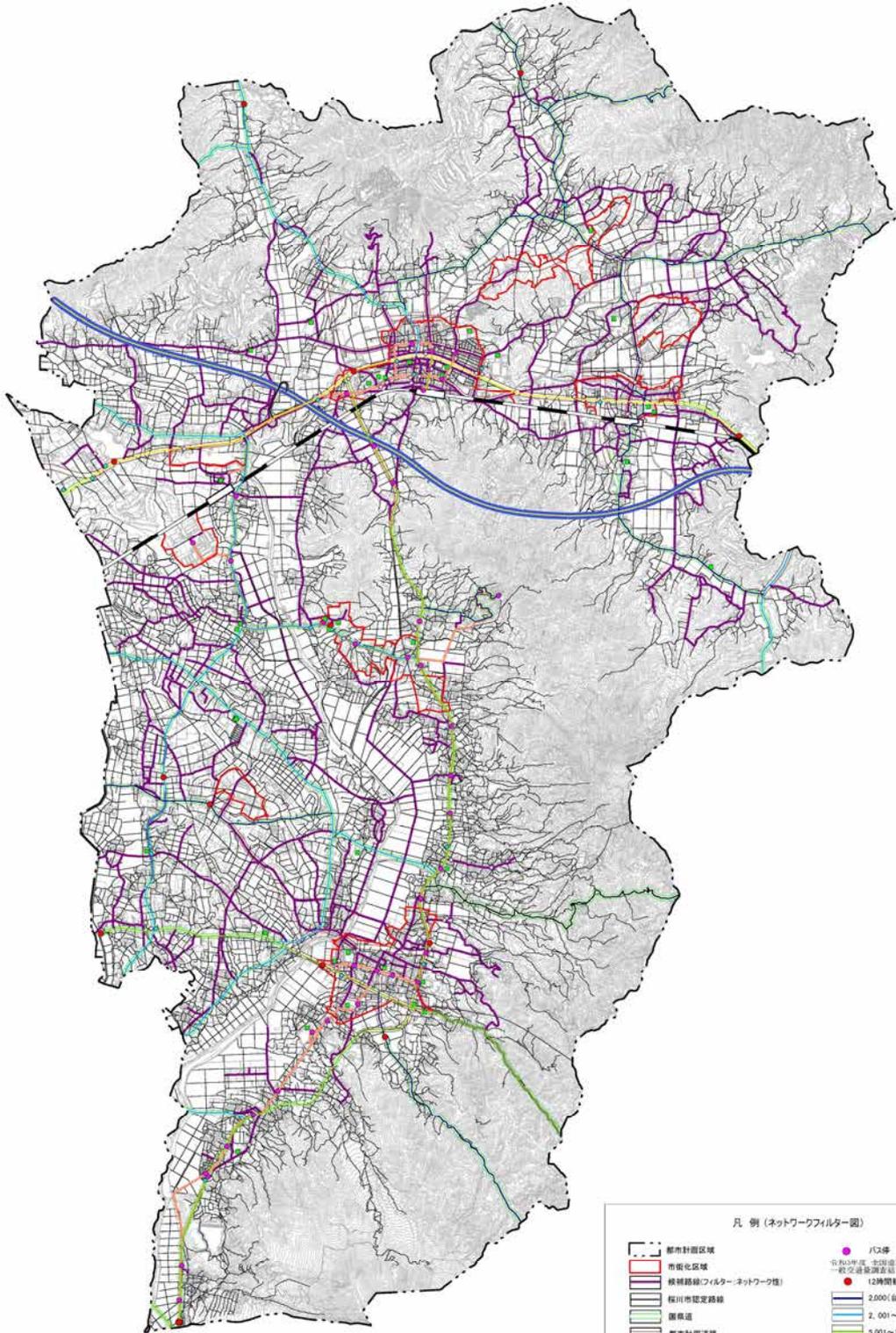
■ネットワーク性に合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【ネットワーク性に合致した市道】



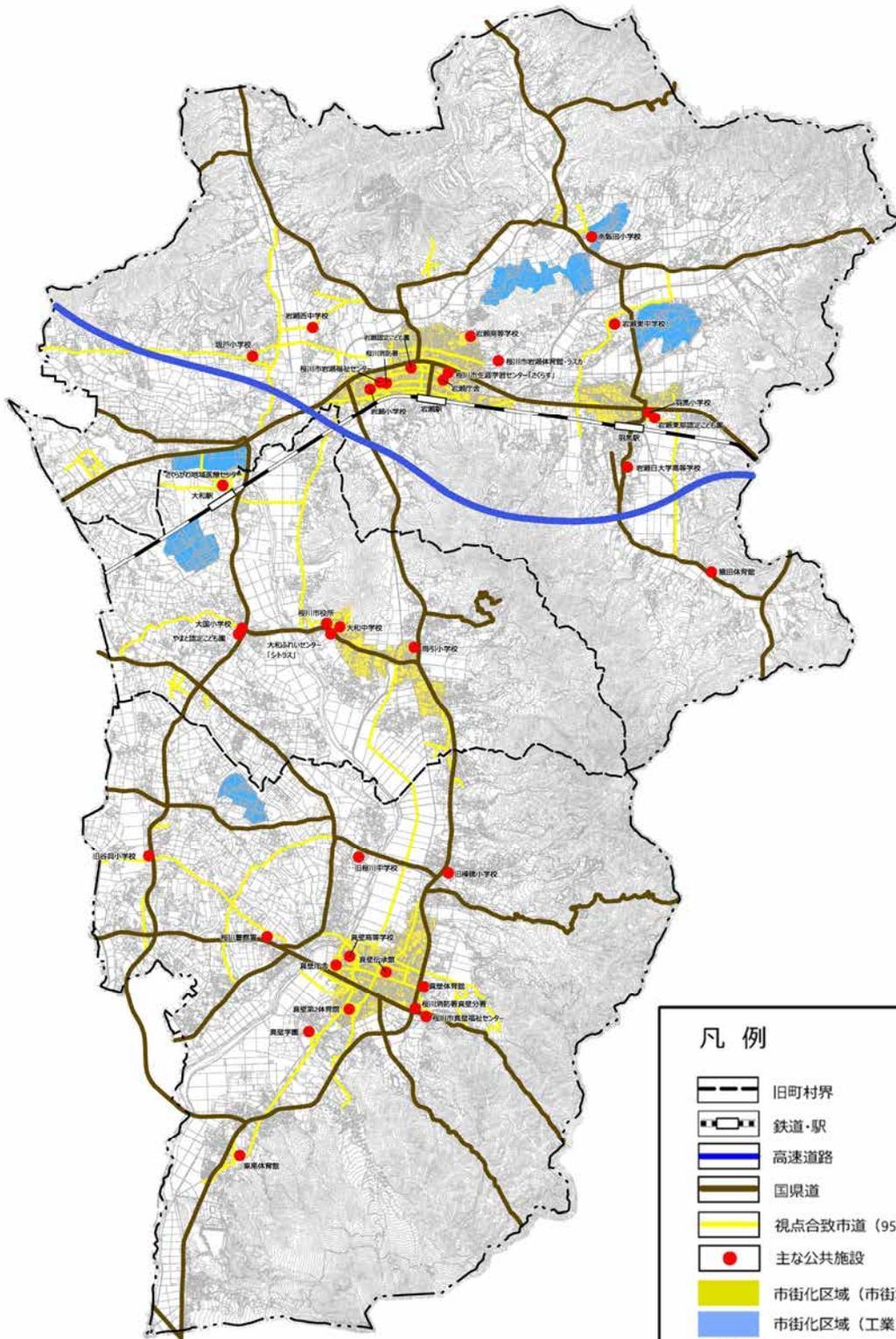
■ネットワーク性に合致した市道（根拠図）

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【ネットワーク性に合致した市道】



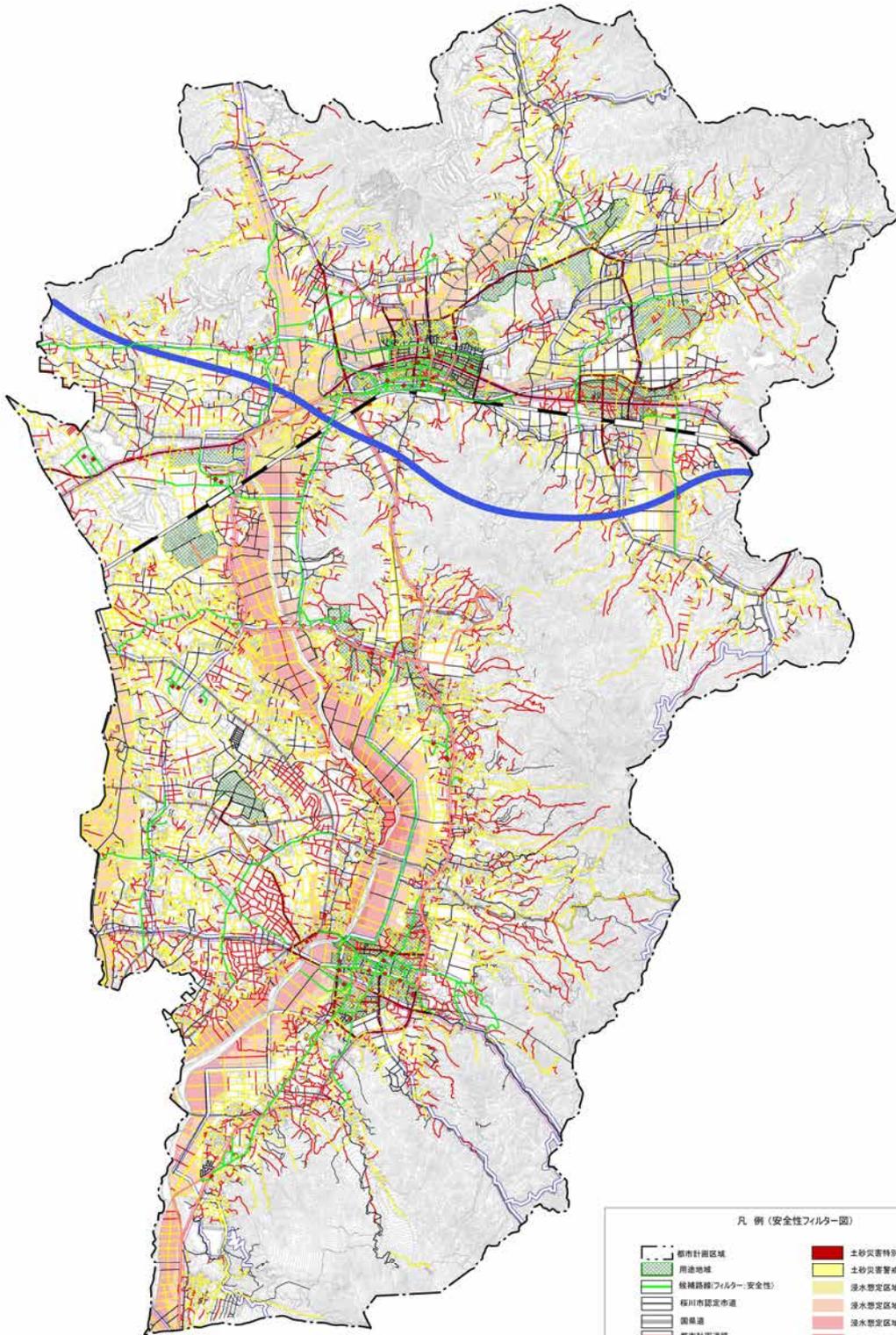
■安全性に合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【安全性に合致した市道】



■安全性に合致した市道（根拠図）

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【安全性に合致した市道】

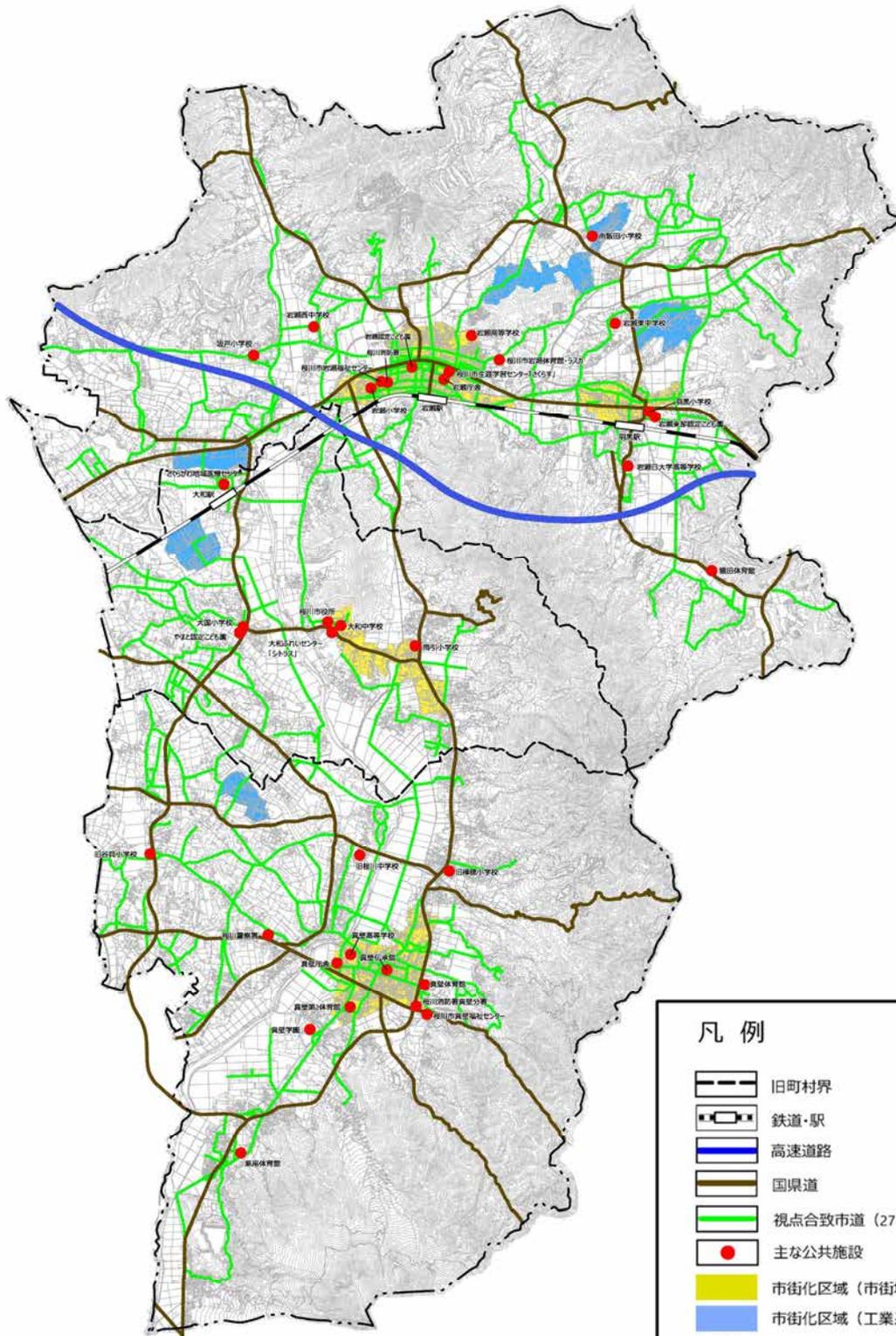


凡例（安全性フィルター図）

	都市計画区域		土砂災害特別警戒区域
	用途地域		土砂災害警戒区域
	根拠路線フィルター（安全性）		浸水想定区域（0.5m未満）
	桜川市認定市道		浸水想定区域（0.5m以上3.0m未満）
	国庫道		浸水想定区域（3.0m以上5.0m未満）
	都市計画道路		浸水想定区域（5.0m以上）
	鉄道		幅員4m未満
	緊急輸送路		幅員4m未満区間有り
	避難所		
	医療機関		
	教育施設		

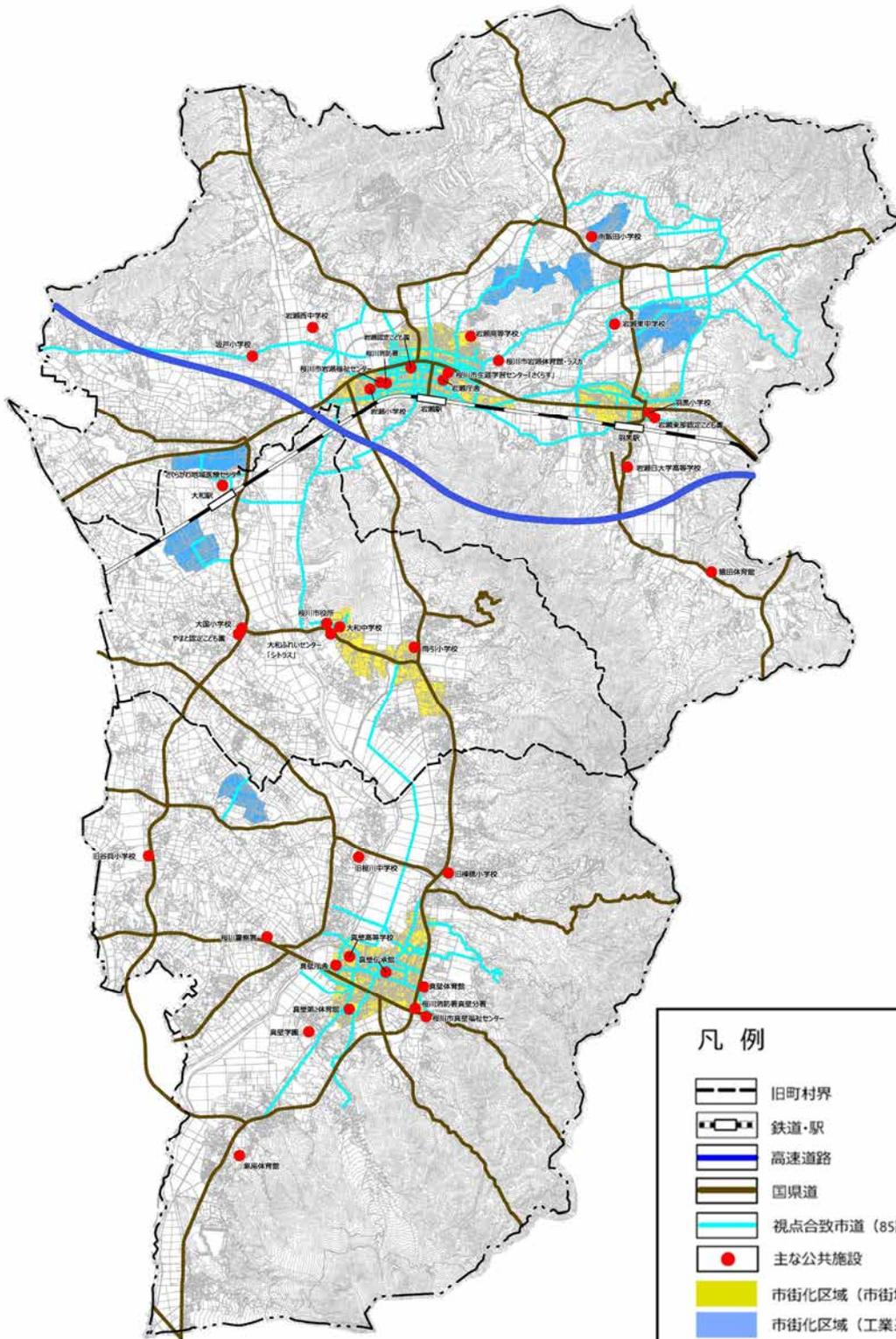
■生活利便性に合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【生活利便性に合致した市道】



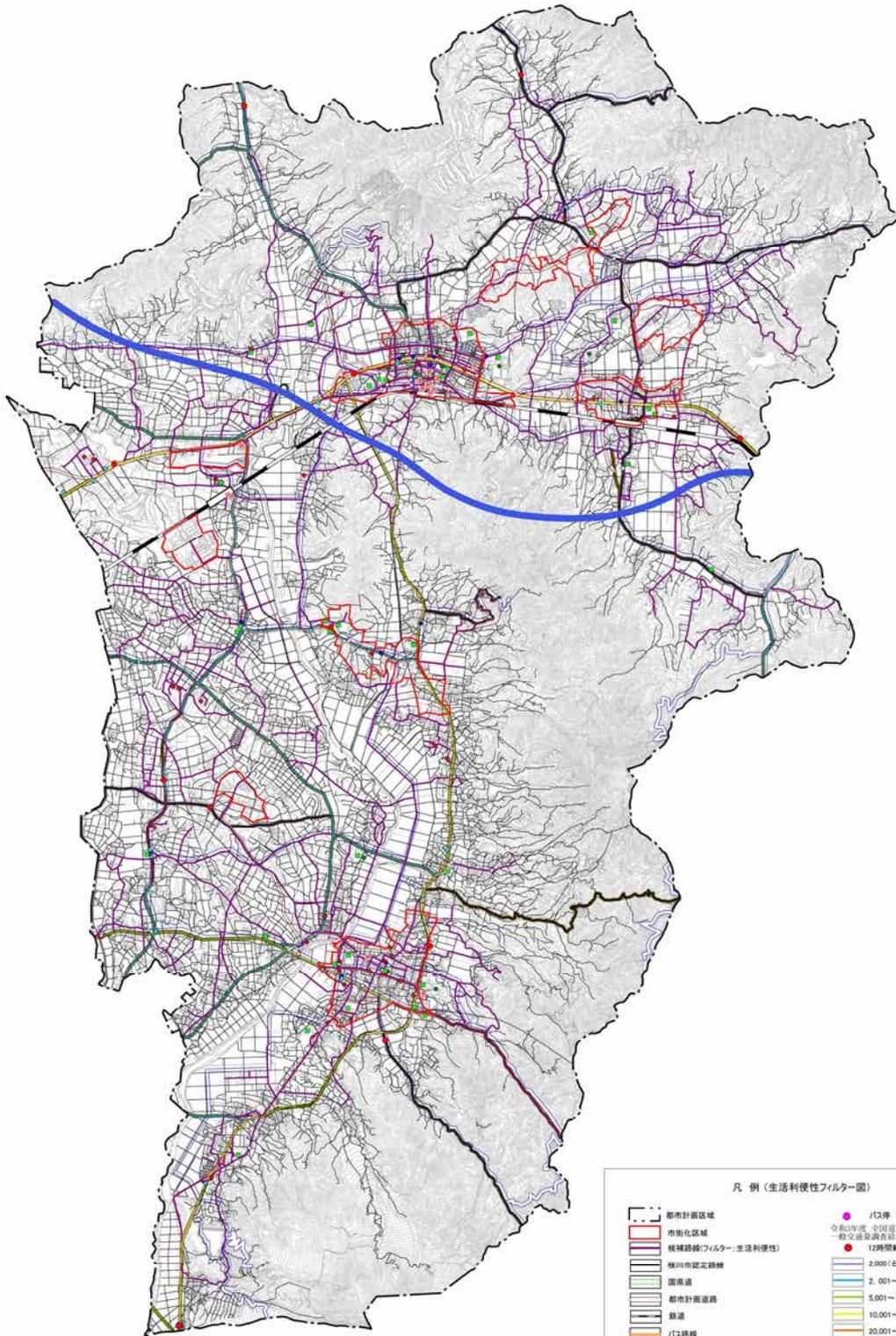
■まちなかの利便性に合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【まちなかの利便性に合致した市道】



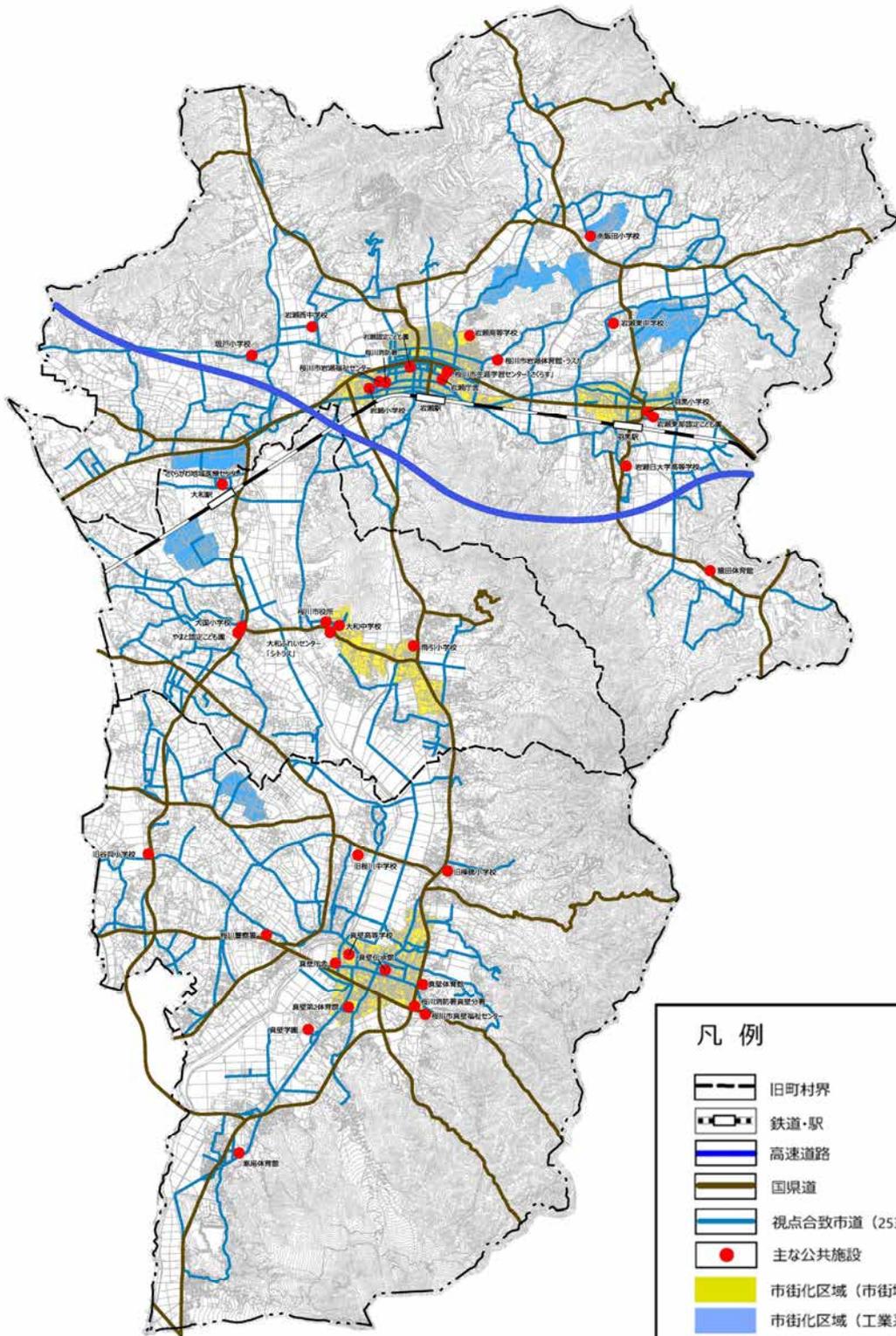
■生活利便性に合致した市道・まちなかの利便性に合致した市道（根拠図）

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【生活利便性に合致した市道】



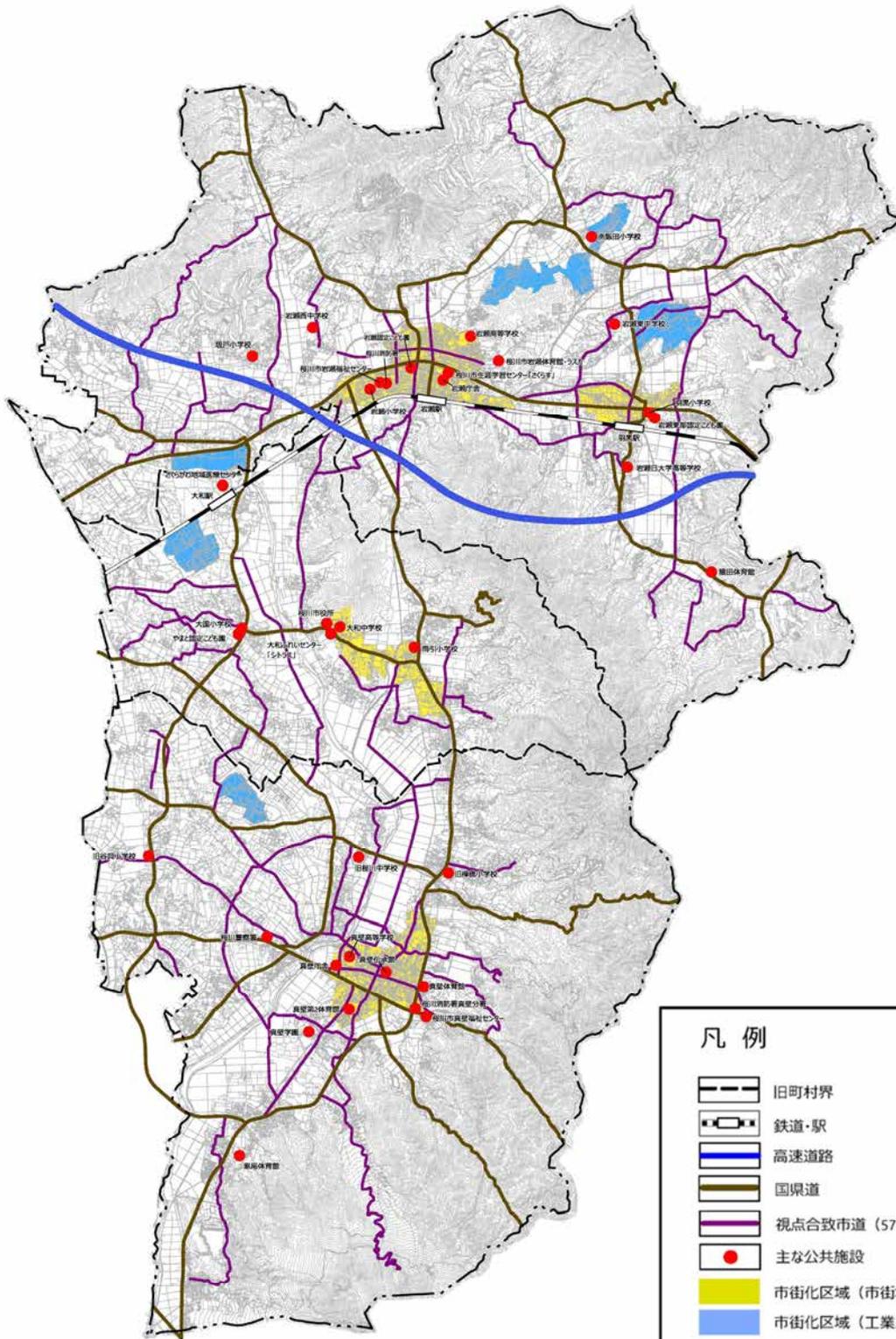
■持続的なまちづくりに合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【持続的なまちづくりに合致した市道】



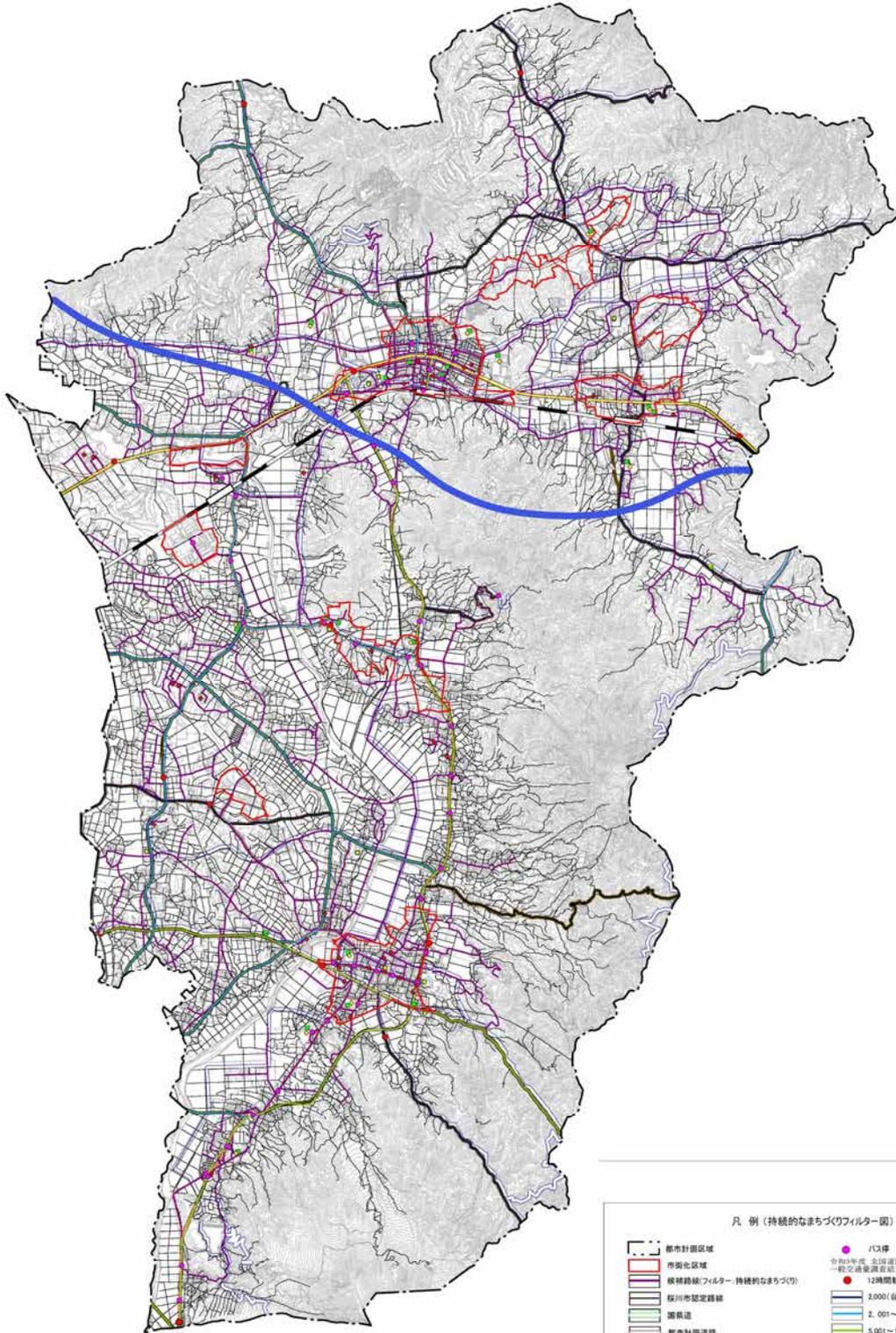
■まちなかのみちづくりに合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【まちなかのみちづくりに合致した市道】



■持続的なまちづくりに合致した市道・まちなかのみちづくりに合致した市道（根拠図）

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【持続的なまちづくりに合致した市道】

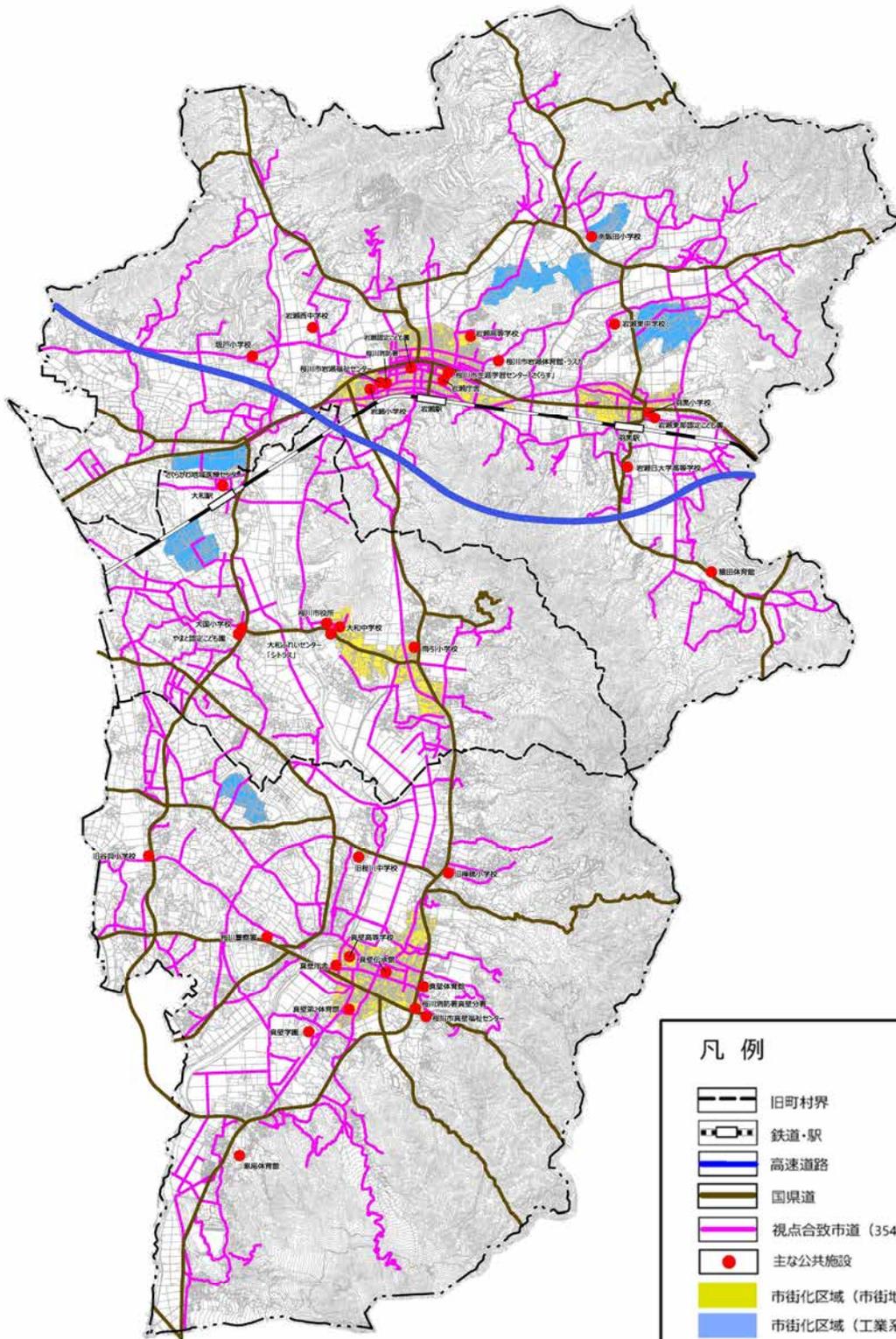


凡例（持続的なまちづくりフィルター図）

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市計画区域</li> <li>■ 市街化区域</li> <li>▨ 緑地緑線/フィルター-持続的なまちづくり</li> <li>▨ 桜川市認定道路</li> <li>▨ 国道</li> <li>▨ 都市計画道路</li> <li>▨ 幹道</li> <li>▨ バス路線</li> <li>▨ 主な公共施設</li> <li>◆ 医療機関</li> <li>◆ 遊樂所</li> <li>◆ 買い物施設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バス停</li> <li>● 令和5年度 全国道路・駅前交通情報調査<br/>→ 駅交通量調査結果より<br/>● 12時間経路地点</li> <li>2,000(台/12H)以下</li> <li>2,001~3,000(台/12H)</li> <li>3,001~5,000(台/12H)</li> <li>5,001~10,000(台/12H)</li> <li>10,001~20,000(台/12H)</li> <li>20,001~40,000(台/12H)</li> <li>40,001(台/12H)~</li> <li>○ 自転車路線</li> <li>● 公園</li> </ul> |
|--|--|

■地域特性に合致した市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【地域特性に合致した市道】

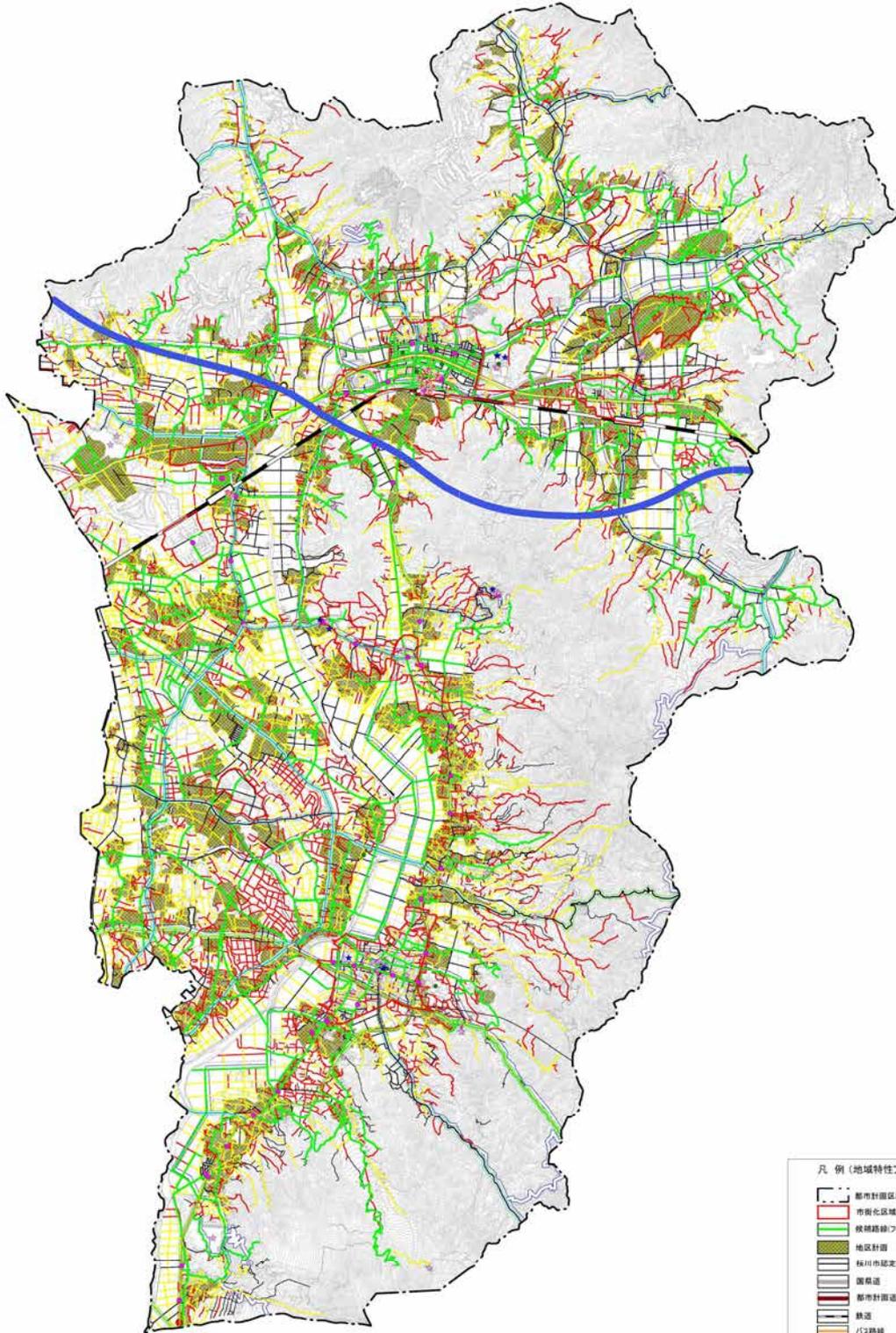


凡例

-  旧町村界
-  鉄道・駅
-  高速道路
-  国県道
-  視点合致市道（354路線）
-  主な公共施設
-  市街化区域（市街地）
-  市街化区域（工業系）
-  行政界

■地域特性に合致した市道（根拠図）

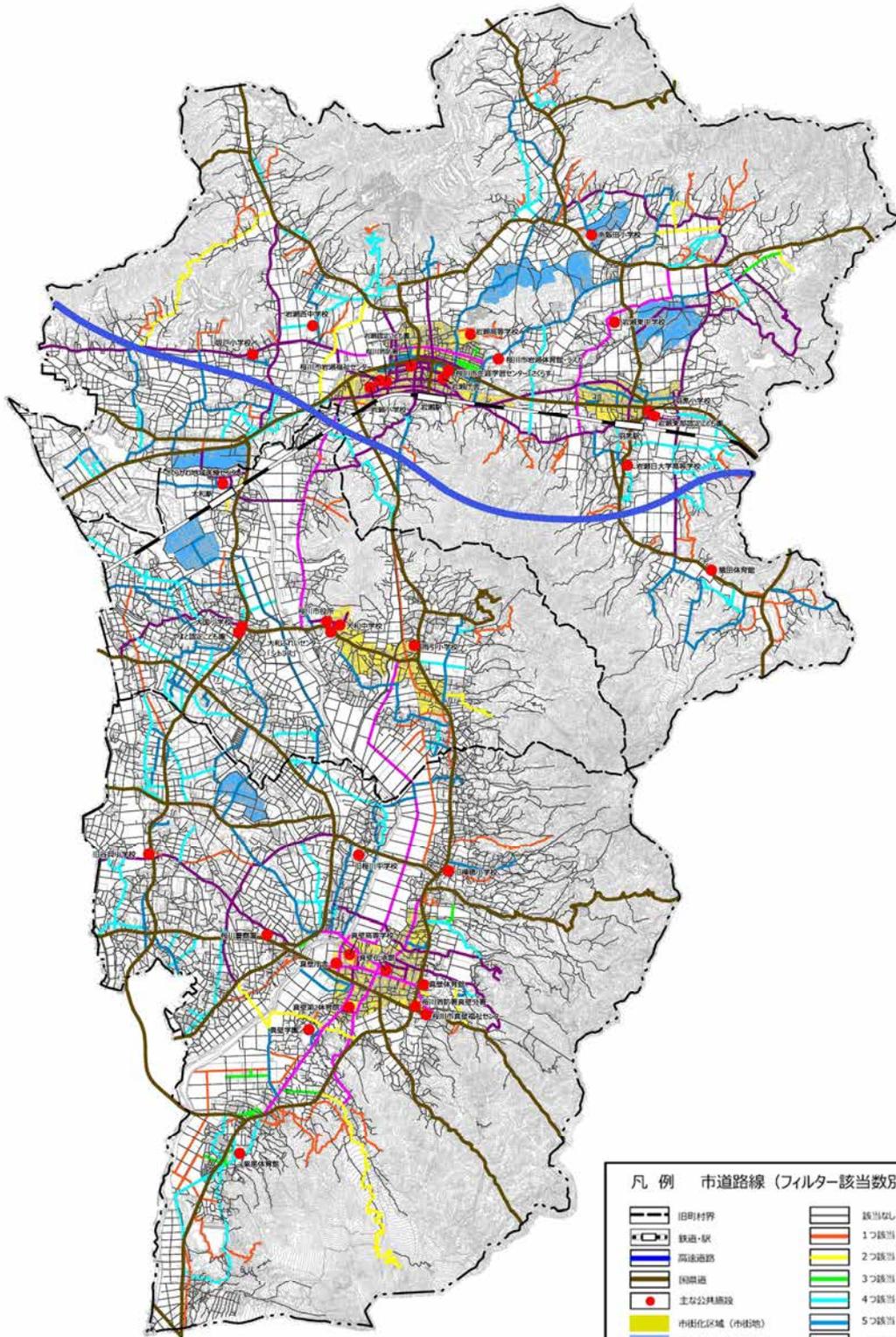
桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【地域特性に合致した市道】



- 凡例（地域特性フィルター図）
- 都市計画区域
  - 市街化区域
  - 候補路線（フィルター：地域特性）
  - 地区計画
  - 桜川市認定道路
  - 国県道
  - 都市計画道路
  - 鉄道
  - バス路線
  - 自転車路線
  - 駐車場
  - 公園
  - バス停
  - ★ 文化施設
  - ★ 観光資源

■7つの視点の該当数別市道

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【7つの視点の該当数別市道】

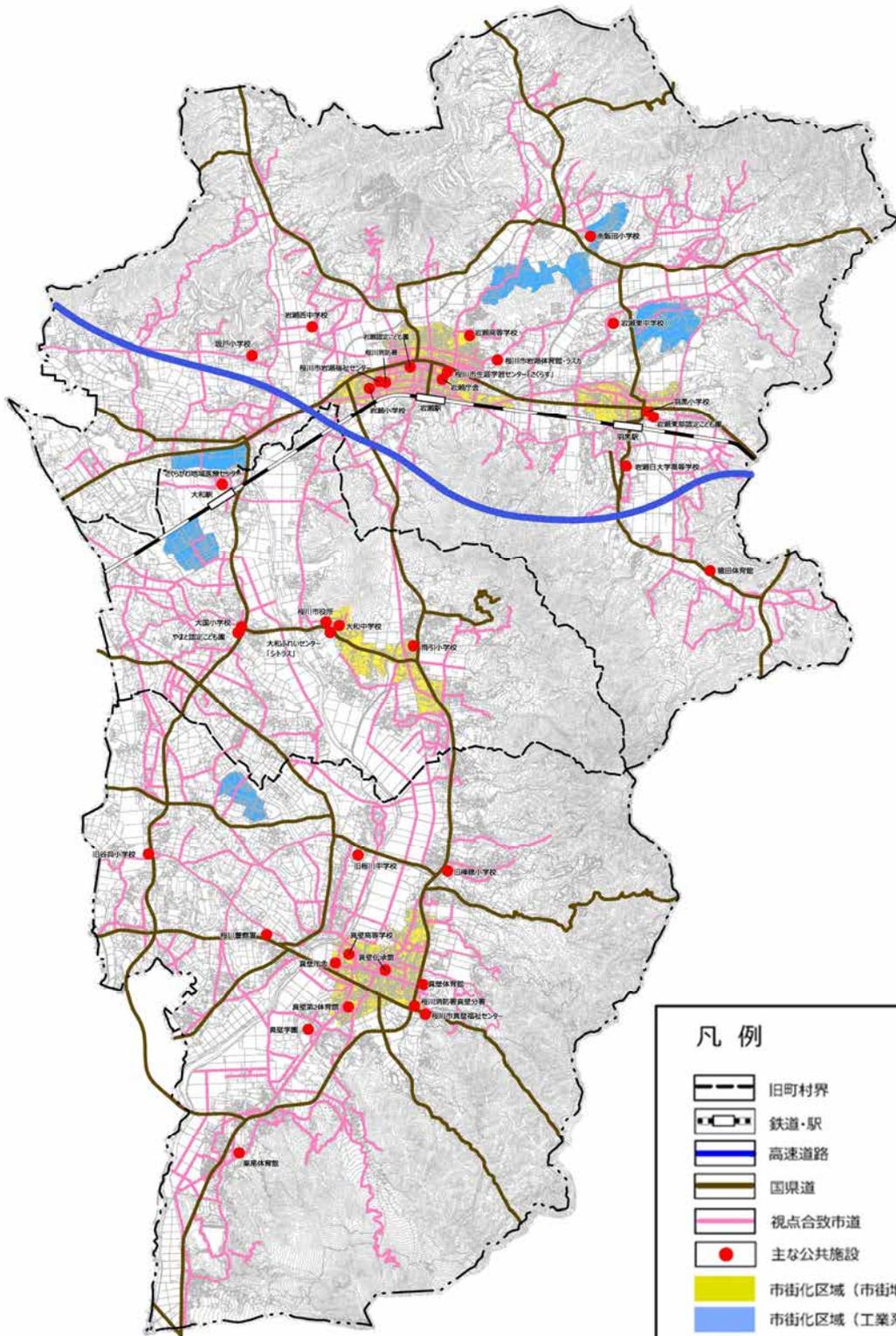


凡例 市道路線 (フィルター該当数別)

	旧町村界		該当なし (6030路線)
	鉄道-駅		1つ該当 (114路線)
	高速道路		2つ該当 (138路線)
	国道		3つ該当 (17路線)
	主な公共施設		4つ該当 (104路線)
	市街化区域 (市街地)		5つ該当 (77路線)
	市街化区域 (工業系)		6つ該当 (50路線)
	行政区界		7つ該当 (9路線)

■視点到合致した市道（まとめ）

桜川市全域 市道整備計画策定業務委託  
【視点到合致した市道】



■視点に合致した市道一覧①

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致								路線延長 (m)
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性	該当数	
1	0101	1	1	1	1	1	1	1	7	2,344.97
2	0102	1	0	1	1	1	1	1	6	1,250.48
3	0103	1	0	1	1	1	1	1	6	3,015.33
4	0104	1	0	1	1	1	1	1	6	1,201.91
5	0105	1	0	1	1	1	0	1	5	3,208.45
6	0106	1	1	1	1	1	0	1	6	5,854.53
7	0107	1	1	1	1	1	1	1	7	3,825.23
8	0108	1	1	1	1	1	0	1	6	3,197.72
9	0109	1	0	1	1	1	1	1	6	2,942.90
10	0110	1	0	1	1	1	0	1	5	3,374.16
11	0111	1	0	1	1	1	1	1	6	6,371.15
12	0112	1	1	1	0	1	1	1	6	2,341.90
13	0113	1	0	1	1	1	1	1	6	2,313.16
14	0114	1	0	1	0	1	1	1	5	1,411.52
15	0115	1	1	1	0	1	1	1	6	3,582.47
16	0116	1	1	1	1	1	1	1	7	3,698.23
17	0117	1	0	1	0	1	1	1	5	2,152.91
18	0118	0	0	0	0	0	0	1	1	2,570.42
19	0121	1	0	1	0	1	1	1	5	2,810.08
20	0122	1	1	1	1	1	1	1	7	6,092.27
21	0123	1	0	1	0	1	1	1	5	1,492.19
22	0126	1	1	1	0	1	1	1	6	3,419.75
23	0129	1	0	1	0	1	1	1	5	2,312.53
24	0130	1	0	1	0	1	1	1	5	3,743.20
25	0131	1	1	1	0	1	1	1	6	3,539.18
26	0132	1	1	1	1	1	1	1	7	1,159.55
27	0133	1	1	1	1	1	1	1	7	2,072.50
28	0135	1	1	1	1	1	1	1	7	1,591.83
29	0136	1	1	1	1	1	1	1	7	2,479.32
30	0137	0	0	0	0	0	1	1	2	2,641.97
31	0140	0	0	1	0	1	1	1	4	3,634.03
32	0141	1	1	1	1	1	0	1	6	1,064.89
33	0202	1	0	1	0	1	1	1	5	1,715.43
34	0203	1	0	1	0	1	1	1	5	1,993.29
35	0205	1	1	1	0	1	0	0	4	878.17
36	0206	1	0	1	1	1	1	1	6	5,878.95
37	0207	1	0	1	0	1	1	1	5	1,278.45
38	0208	0	0	0	0	0	1	1	2	3,551.94
39	0210	1	1	1	1	1	0	1	6	712.71
40	0212	1	0	1	0	1	1	1	5	1,233.78
41	0213	1	0	1	0	1	0	1	4	1,770.19
42	0214	1	0	1	0	1	0	1	4	2,534.40
43	0215	1	0	1	0	1	1	1	5	1,899.99
44	0216	1	0	1	0	1	1	1	5	644.08
45	0217	1	0	1	0	1	1	1	5	958.25
46	0218	1	0	1	0	1	1	1	5	1,282.64
47	0219	1	0	1	0	1	1	1	5	4,196.45
48	0220	1	0	1	0	1	1	1	5	3,301.08
49	0221	1	0	1	0	1	1	1	5	930.31
50	0222	1	0	1	0	1	1	1	5	1,197.64

■視点に合致した市道一覧②

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致								路線延長 (m)
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性	該当数	
51	0223	1	1	1	0	1	1	1	6	2,559.15
52	0224	1	0	1	0	1	1	1	5	1,540.56
53	0225	1	0	1	0	1	1	1	5	2,876.93
54	0227	0	0	0	0	0	1	1	2	1,017.34
55	0228	1	0	1	0	1	1	1	5	1,636.50
56	0229	1	0	1	0	1	1	1	5	1,473.86
57	0230	1	0	1	0	1	1	1	5	1,155.40
58	0231	0	0	1	0	0	0	0	1	1,206.32
59	0232	1	0	1	1	1	1	1	6	3,505.26
60	0235	1	0	1	0	1	1	1	5	717.96
61	0237	1	1	1	1	1	1	1	7	2,543.44
62	0239	1	0	1	0	1	1	1	5	1,083.56
63	0241	1	1	1	0	1	1	1	6	2,028.85
64	0242	0	0	0	0	0	1	1	2	4,933.80
65	W1002	1	1	1	1	1	0	1	6	38.68
66	W1004	1	1	1	1	1	0	1	6	48.14
67	W1009	1	1	1	1	1	0	1	6	308.20
68	W1010	1	0	1	1	1	0	1	5	277.32
69	W1014	1	1	1	1	1	0	1	6	262.87
70	W1015	1	0	1	1	1	0	1	5	373.11
71	W1020	1	0	1	1	1	0	1	5	455.92
72	W1024	1	1	1	1	1	0	1	6	968.27
73	W1039	1	1	1	1	1	0	1	6	267.65
74	W1043	1	1	1	1	1	0	1	6	100.58
75	W1062	1	1	1	1	1	0	1	6	144.43
76	W1073	1	1	1	1	1	0	1	6	217.90
77	W1075	1	1	1	1	1	0	1	6	209.26
78	W1076	1	1	1	1	1	0	1	6	341.28
79	W1084	1	1	1	1	1	0	1	6	1,190.75
80	W1085	1	1	1	1	1	0	1	6	926.53
81	W1096	0	0	0	0	0	0	1	1	299.12
82	W1112	0	0	0	0	0	0	1	1	453.99
83	W1146	1	0	1	0	1	0	1	4	231.50
84	W1147	1	0	1	0	1	0	1	4	750.37
85	W1166	1	1	1	1	1	0	1	6	546.73
86	W1173	0	0	0	0	0	0	1	1	877.79
87	W1182	1	0	1	0	1	0	1	4	89.34
88	W1202	1	0	1	0	1	0	1	4	487.87
89	W1227	0	0	0	0	0	0	1	1	457.49
90	W1242	0	0	0	0	0	0	1	1	689.58
91	W1253	1	0	1	0	1	0	1	4	164.34
92	W1260	1	0	1	0	1	0	1	4	1,050.53
93	W1270	0	0	0	0	0	0	1	1	575.71
94	W1287	1	0	1	0	1	0	1	4	216.83
95	W1291	1	0	1	0	1	0	1	4	299.49
96	W1295	1	0	1	0	1	0	1	4	953.76
97	W1296	0	0	0	0	0	0	1	1	488.02
98	W1306	0	0	0	0	0	0	1	1	296.87
99	W1310	0	0	0	0	0	0	1	1	241.09
100	W1313	0	0	0	0	0	0	1	1	668.03

■視点に合致した市道一覧③

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致							路線延長 (m)	
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの 利便性	持続的な まちづくり	まちなかの みちづくり	地域特性		該当数
101	W1318	1	0	1	0	1	0	1	4	475.36
102	W1334	1	0	1	0	1	0	1	4	726.96
103	W1348	0	0	0	0	0	0	1	1	165.54
104	W1367	1	0	1	0	1	0	1	4	151.62
105	W1384	1	0	1	0	1	0	1	4	461.13
106	W1392	1	0	1	0	1	0	1	4	456.89
107	W1430	1	0	1	0	1	0	1	4	366.48
108	W1447	1	0	1	0	1	0	1	4	94.10
109	W1456	0	0	0	0	0	0	1	1	602.92
110	W1475	1	0	1	0	1	0	1	4	1,201.46
111	W1483	0	0	0	0	0	0	1	1	306.84
112	W1490	0	0	0	0	0	0	1	1	290.75
113	W1503	0	0	0	0	0	0	1	1	1,197.15
114	W1525	1	0	1	0	1	0	1	4	163.08
115	W1534	1	0	1	0	1	0	1	4	835.02
116	W1537	1	0	1	0	1	0	1	4	288.81
117	W1553	0	0	0	0	0	0	1	1	675.94
118	W1554	0	0	0	0	0	0	1	1	343.69
119	W1562	1	0	1	0	1	0	1	4	142.16
120	W1563	0	0	0	0	0	0	1	1	958.26
121	W1565	0	0	0	0	0	0	1	1	338.72
122	W1573	0	0	0	0	0	0	1	1	707.30
123	W2039	0	0	0	0	0	0	1	1	404.64
124	W2043	1	0	1	0	1	0	1	4	539.51
125	W2051	0	0	0	0	0	0	1	1	592.03
126	W2066	0	0	0	0	0	0	1	1	47.74
127	W2067	0	0	0	0	0	0	1	1	417.95
128	W2078	0	0	0	0	0	0	1	1	342.21
129	W2118	0	0	0	0	0	0	1	1	607.89
130	W2119	0	1	1	0	1	0	1	4	548.40
131	W2140	0	0	0	0	0	0	1	1	657.83
132	W2149	0	0	0	0	0	0	1	1	346.16
133	W2167	0	0	0	0	0	0	1	1	130.17
134	W2168	1	1	1	0	1	0	0	4	599.14
135	W2180	0	0	0	0	0	0	1	1	275.54
136	W2209	0	0	0	0	0	0	1	1	241.24
137	W2232	1	0	1	1	1	0	1	5	138.52
138	W2269	0	0	0	0	0	0	1	1	825.62
139	W2296	1	1	1	0	1	0	1	5	375.57
140	W2303	1	0	1	1	1	0	1	5	212.48
141	W2312	1	0	1	1	1	0	1	5	329.92
142	W2323	1	0	1	1	1	0	1	5	83.13
143	W2343	1	1	1	0	1	0	1	5	148.38
144	W2407	1	0	1	0	1	0	1	4	1,302.64
145	W2456	0	0	1	1	0	0	0	2	1,936.90
146	W2510	1	0	1	0	1	0	1	4	276.99
147	W2515	0	0	0	0	0	0	1	1	390.70
148	W2545	1	0	1	0	1	0	1	4	356.48
149	W2546	1	0	1	0	1	0	1	4	308.95
150	W2569	1	0	1	0	1	0	1	4	564.79

■視点に合致した市道一覧④

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致							路線延長 (m)	
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性		該当数
151	W2571	1	0	1	0	1	0	1	4	1,607.88
152	W2578	0	0	1	0	0	0	0	1	130.10
153	W2580	1	0	1	0	1	0	1	4	349.78
154	W2615	1	1	1	0	1	0	1	5	947.14
155	W2617	0	1	1	0	1	0	1	4	308.37
156	W2619	0	1	1	0	1	0	1	4	424.28
157	W3069	1	0	1	0	1	0	1	4	530.81
158	W3087	0	0	0	0	0	0	1	1	608.26
159	W3090	1	0	1	0	1	0	1	4	676.51
160	W3112	0	0	0	0	0	0	1	1	174.18
161	W3113	1	1	1	0	1	0	1	5	154.61
162	W3114	0	0	0	0	0	0	1	1	130.13
163	W3115	1	0	1	0	1	0	1	4	178.24
164	W3135	1	0	1	1	1	0	1	5	83.07
165	W3140	1	0	1	0	1	0	1	4	1,445.15
166	W3148	1	1	1	0	1	0	1	5	309.38
167	W3150	0	0	1	0	0	0	0	1	314.37
168	W3169	0	0	0	0	0	0	1	1	420.47
169	W3248	1	1	1	0	1	0	1	5	342.17
170	W3266	0	0	0	0	0	0	1	1	253.31
171	W3267	0	0	0	0	0	0	1	1	221.49
172	W3273	1	1	1	0	1	0	1	5	697.72
173	W3299	1	0	1	0	1	0	1	4	299.91
174	W3308	1	0	1	0	1	0	1	4	410.65
175	W3319	1	0	1	0	1	0	1	4	2,128.57
176	W3370	0	0	0	0	0	0	1	1	1,118.18
177	W3431	0	0	1	1	0	0	1	3	171.60
178	W3469	1	1	1	1	1	0	1	6	221.71
179	W3471	1	1	1	1	1	0	1	6	338.85
180	W3481	0	0	1	1	0	0	1	3	348.99
181	W3486	0	0	1	1	0	0	1	3	354.69
182	W3488	1	1	1	1	1	0	1	6	437.31
183	W3515	1	0	1	1	1	0	1	5	622.95
184	W3534	0	1	1	1	1	0	1	5	210.97
185	W3542	1	0	1	1	1	0	1	5	237.22
186	W3544	1	0	1	1	1	0	1	5	430.43
187	W4024	0	0	0	0	0	0	1	1	104.33
188	W4028	0	0	0	0	0	0	1	1	134.65
189	W4032	0	0	0	0	0	0	1	1	426.70
190	W4038	0	0	0	0	0	0	1	1	350.08
191	W4056	1	0	1	0	1	0	1	4	235.94
192	W4058	1	0	1	0	1	0	1	4	405.43
193	W4090	0	0	0	0	0	0	1	1	245.87
194	W4096	1	0	1	0	1	0	1	4	550.91
195	W4116	0	0	0	0	0	0	1	1	561.33
196	W4121	1	1	1	0	1	0	1	5	514.35
197	W4123	0	0	0	0	0	0	1	1	743.33
198	W4127	0	0	1	1	0	0	0	2	241.59
199	W4130	0	0	0	0	0	0	1	1	232.90
200	W4135	0	0	0	0	0	0	1	1	887.81

■視点に合致した市道一覧⑤

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致								路線延長 (m)
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性	該当数	
201	W4141	0	0	1	0	0	0	0	1	758.18
202	W4156	0	0	0	0	0	0	1	1	740.57
203	W4171	0	0	1	0	0	0	1	2	463.45
204	W4172	0	0	1	1	0	0	0	2	999.73
205	W4174	0	1	0	0	0	0	0	1	183.78
206	W4206	0	0	1	0	0	0	1	2	471.65
207	W4209	1	0	1	0	1	0	1	4	579.33
208	W4216	1	0	1	0	1	0	1	4	368.18
209	W4224	0	0	0	0	0	0	1	1	138.36
210	W4234	0	0	0	0	0	0	1	1	167.80
211	W4240	0	0	0	0	0	0	1	1	348.28
212	W4246	0	0	0	0	0	0	1	1	440.79
213	W4249	1	0	1	0	1	0	1	4	328.54
214	W4253	1	0	1	0	1	0	1	4	307.10
215	W4257	1	0	1	0	1	0	1	4	438.42
216	W4264	1	0	1	0	1	0	1	4	50.40
217	W4268	0	0	1	1	0	0	1	3	695.19
218	W4278	1	0	1	0	1	0	1	4	609.91
219	W4287	1	0	1	1	1	0	1	5	418.89
220	W4289	0	0	0	0	0	0	1	1	511.90
221	W4292	1	0	1	1	1	0	1	5	327.11
222	W4382	1	0	1	1	1	0	1	5	354.74
223	W4387	1	1	1	1	1	0	1	6	80.62
224	W4394	1	0	1	1	1	0	1	5	444.26
225	M1023	1	0	1	0	1	1	1	5	175.61
226	M1040	1	0	1	0	1	1	1	5	280.99
227	M1043	1	0	1	0	1	1	1	5	779.15
228	M1060	1	0	1	0	1	0	1	4	941.88
229	M1072	1	0	1	0	1	0	1	4	1,013.58
230	M1083	1	0	1	0	1	0	1	4	178.27
231	M1100	1	0	1	0	1	1	1	5	408.95
232	M1106	1	0	1	0	1	0	1	4	1,633.22
233	M1114	1	0	1	0	1	0	1	4	129.63
234	M1139	1	0	1	0	1	0	1	4	529.91
235	M1163	1	0	1	0	1	0	1	4	256.70
236	M1185	1	0	1	0	1	0	1	4	699.10
237	M1214	1	0	1	0	1	0	1	4	433.21
238	M1295	1	0	1	1	1	0	1	5	873.39
239	M1322	1	0	1	0	1	0	1	4	106.92
240	M1347	1	1	1	0	1	0	1	5	358.20
241	M1425	1	0	1	0	1	0	1	4	713.86
242	M1453	0	0	1	0	0	0	0	1	159.57
243	M1491	1	0	1	0	1	0	1	4	480.65
244	M1506	1	0	1	0	1	0	1	4	625.86
245	M1584	1	1	1	0	1	0	1	5	1,520.21
246	M1662	1	0	1	0	1	0	1	4	489.41
247	M1677	1	0	1	0	1	0	1	4	161.65
248	M1775	1	0	1	0	1	0	1	4	1,493.14
249	M1787	1	0	1	0	1	0	1	4	1,079.49
250	M1795	1	0	1	0	1	0	1	4	1,293.16

■視点に合致した市道一覧⑥

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致							路線延長 (m)	
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性		該当数
251	M1819	1	0	1	0	1	0	1	4	823.42
252	M1832	0	0	1	0	1	0	1	3	200.81
253	M1836	0	0	1	0	1	0	1	3	48.41
254	M2041	0	1	0	0	0	0	0	1	294.67
255	M2061	1	1	1	0	1	0	1	5	156.57
256	M2079	1	1	1	0	1	0	1	5	164.37
257	M2203	0	0	0	0	0	0	1	1	1,913.04
258	M2281	0	0	0	0	0	0	1	1	901.92
259	M2286	0	0	0	0	0	0	1	1	1,688.45
260	M2410	0	0	0	0	0	0	1	1	309.17
261	M2411	0	0	0	0	0	0	1	1	175.41
262	M2412	0	0	0	0	0	0	1	1	65.79
263	M2485	1	0	1	0	1	0	0	3	323.01
264	M2490	1	0	1	1	1	0	0	4	1,199.80
265	M2544	1	0	1	1	1	0	1	5	434.86
266	M2562	1	1	1	1	1	0	1	6	61.77
267	M2602	1	1	1	1	1	0	1	6	181.01
268	M2624	0	1	0	0	0	0	0	1	186.10
269	M2626	1	1	1	1	1	0	1	6	191.99
270	M2635	1	1	1	1	1	0	1	6	209.70
271	M2636	1	1	1	1	1	0	1	6	45.52
272	M2639	0	0	1	1	0	0	0	2	380.81
273	M2640	1	1	1	1	1	0	1	6	480.29
274	M2652	1	1	1	1	1	0	1	6	190.23
275	M2669	1	1	1	1	1	0	1	6	212.96
276	M2670	1	1	1	1	1	0	1	6	256.64
277	M2673	0	0	0	0	0	0	1	1	88.45
278	M2674	0	0	0	0	0	0	1	1	120.39
279	M2675	1	1	1	0	1	0	1	5	417.85
280	M2705	0	0	1	0	0	0	1	2	156.82
281	M2712	1	0	1	0	1	0	1	4	136.07
282	M2760	0	1	1	0	0	0	0	2	761.32
283	M3005	1	0	1	0	1	0	1	4	344.35
284	M3016	1	0	1	0	1	0	1	4	734.23
285	M3061	1	1	1	0	1	0	1	5	909.33
286	M3100	0	0	0	0	0	0	1	1	1,477.16
287	M3135	0	0	0	0	0	0	1	1	99.12
288	M3283	1	0	1	0	1	0	1	4	597.58
289	M3293	1	0	1	0	1	0	1	4	244.99
290	M4005	0	1	1	1	1	0	1	5	981.84
291	M4006	0	1	1	1	1	0	1	5	549.81
292	M4044	1	1	1	1	1	0	1	6	219.76
293	M4051	1	0	1	0	1	0	1	4	3,212.37
294	M4093	0	0	0	0	0	0	1	1	187.54
295	M4109	0	0	0	0	0	0	1	1	261.55
296	M4111	0	0	0	0	0	0	1	1	46.13
297	M4140	1	1	1	0	1	0	1	5	302.26
298	M4246	0	0	0	0	0	0	1	1	70.37
299	M4280	0	0	0	0	0	0	1	1	1,169.41
300	M4303	1	0	1	0	1	0	0	3	673.09

■視点に合致した市道一覧⑦

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致								路線延長 (m)
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性	該当数	
301	M4306	1	0	1	0	1	0	0	3	95.20
302	M4326	0	0	0	0	0	0	1	1	1,067.67
303	M4349	1	0	1	0	1	0	0	3	603.96
304	M4435	0	0	0	0	0	0	1	1	973.49
305	M4437	0	0	0	0	0	0	1	1	1,525.35
306	M4450	0	0	0	0	0	0	1	1	272.94
307	M4453	1	0	1	0	1	0	0	3	71.76
308	M4468	0	0	0	0	0	0	1	1	675.09
309	M4472	0	0	0	0	0	0	1	1	1,008.47
310	M4474	0	0	0	0	0	0	1	1	29.92
311	M4476	1	0	1	0	1	0	0	3	142.04
312	M4478	1	0	1	0	1	0	0	3	476.61
313	M4479	0	0	0	0	0	0	1	1	1,054.79
314	M4496	0	0	0	0	0	0	1	1	649.09
315	M4512	0	0	0	0	0	0	1	1	239.59
316	M4515	0	0	0	0	0	0	1	1	134.14
317	M4517	0	0	0	0	0	0	1	1	225.06
318	M4534	0	0	0	0	0	0	1	1	1,058.58
319	M4601	0	1	1	0	1	0	0	3	174.40
320	M4615	0	1	1	0	1	0	0	3	169.34
321	M4631	1	1	1	0	1	0	0	4	401.37
322	M4635	1	0	1	0	1	0	0	3	278.44
323	M4636	0	1	1	0	1	0	0	3	58.86
324	M4664	1	1	1	0	1	0	0	4	1,229.42
325	M4674	0	1	1	0	1	0	1	4	273.92
326	M4685	0	0	0	0	0	0	1	1	379.85
327	M4696	0	0	0	0	0	0	1	1	776.34
328	M4708	0	0	0	0	0	0	1	1	421.05
329	M4709	0	0	0	0	0	0	1	1	95.42
330	M4732	0	0	0	0	0	0	1	1	1,141.66
331	M4757	1	0	1	0	1	0	1	4	1,308.17
332	M4761	0	0	0	0	0	0	1	1	358.78
333	M4773	0	0	0	0	0	0	1	1	503.49
334	M4786	0	0	0	0	0	0	1	1	22.29
335	M4790	1	0	1	0	1	0	1	4	270.32
336	M4893	0	0	0	0	0	0	1	1	1,300.70
337	Y1011	0	0	1	0	0	0	1	2	595.33
338	Y1016	1	1	1	1	1	0	1	6	211.78
339	Y1030	1	1	1	0	1	0	1	5	1,335.39
340	Y1031	1	1	1	1	1	0	1	6	1,033.86
341	Y1101	0	0	0	0	0	0	1	1	710.64
342	Y1113	1	0	1	1	1	0	1	5	1,077.68
343	Y1139	1	0	1	0	1	0	1	4	287.33
344	Y1151	1	0	1	0	1	0	1	4	1,108.26
345	Y1191	1	0	1	0	1	0	1	4	311.44
346	Y1279	1	0	1	0	1	0	1	4	2,399.57
347	Y1283	1	0	1	0	1	0	1	4	229.29
348	Y1412	1	0	1	0	1	0	1	4	630.96
349	Y1427	1	0	1	0	1	0	1	4	921.02
350	Y1435	1	1	1	0	1	0	1	5	488.53

■視点に合致した市道一覧⑧

抽出：令和7年1月30日時点

番号	路線番号	判断のための7つの視点との合致								路線延長 (m)
		ネットワーク性	安全性	生活利便性	まちなかの利便性	持続的なまちづくり	まちなかのみちづくり	地域特性	該当数	
351	Y1438	1	0	1	0	1	0	1	4	378.48
352	Y1441	1	0	1	0	1	0	1	4	683.60
353	Y1446	1	1	1	0	1	0	1	5	251.39
354	Y1466	1	1	1	0	1	0	1	5	367.16
355	Y1467	1	0	1	0	1	0	1	4	587.11
356	Y1489	1	1	1	0	1	0	1	5	298.51
357	Y1522	1	0	1	0	1	0	1	4	388.35
358	Y1527	1	0	1	0	1	0	1	4	834.49
359	Y1563	1	0	1	0	1	0	1	4	120.29
360	Y1565	1	0	1	0	1	0	1	4	739.24
361	Y1568	1	0	1	0	1	0	1	4	51.13
362	Y1616	1	1	1	0	1	0	1	5	139.28
363	Y1619	1	1	1	0	1	0	1	5	80.00
364	Y2019	1	0	1	0	1	0	1	4	293.83
365	Y2042	0	0	0	0	0	0	1	1	184.24
366	Y2081	0	0	0	0	0	0	1	1	151.40
367	Y2084	0	0	0	0	0	0	1	1	254.07
368	Y2096	0	0	0	0	0	0	1	1	333.48
369	Y2101	0	0	0	0	0	0	1	1	457.74
370	Y2283	1	1	1	1	1	0	1	6	321.16
371	Y2301	0	0	0	0	0	0	1	1	1,054.37
372	Y2305	1	1	1	0	1	0	1	5	364.88
373	Y2310	1	1	1	1	1	0	1	6	548.92
374	Y2316	0	0	0	0	0	0	1	1	238.03
375	Y2322	1	0	1	0	1	0	1	4	336.38
376	Y2409	1	0	1	0	1	0	1	4	752.76
377	Y2544	0	0	0	0	0	0	1	1	3,053.58
378	Y2557	0	1	0	0	0	0	0	1	723.28
379	Y2578	0	0	0	0	0	0	1	1	828.41
380	Y2605	1	0	1	0	1	0	1	4	599.62
381	Y2666	1	1	1	0	1	0	1	5	145.95
382	Y2671	1	1	1	0	1	0	1	5	417.46
383	Y2672	0	0	0	0	0	0	1	1	811.38
384	Y2673	0	0	0	0	0	0	1	1	136.77
<b>該当数計</b>		<b>240</b>	<b>95</b>	<b>271</b>	<b>85</b>	<b>253</b>	<b>57</b>	<b>354</b>	<b>384</b>	

## 4. 市道整備に係る評価シートの作成

### 1) 評価シートの目的

第3の評価として、“判断のための7つの視点”に合致していることを前提に整備区間（箇所）の具体的な事業効率や事業効果などを評価するため「市道整備に係る評価シート」を作成する。

評価シートは、地区の区長などから整備要望があった際、職員が必要事項を入力することを想定し、評価項目と評価基準をあらかじめ設定することで、評価者に左右されない公平な評価を行うことを目的として作成する。

### 2) 評価項目と評価基準の検討

評価シートの評価項目と評価基準については、次のとおりとする。

なお、配点については、市道整備の考え方との整合（判断のための7つ視点との整合）と緊急性を重視した配点（110点満点）とする。

#### ■評価項目と評価基準

評価項目		評価基準	配点
1. 基本情報		受付日、路線番号、申請者情報、陳情内容、地権者数 等	—
2. 路線情報		幅員、延長、路線の状況、過去の補修履歴 等	—
3. 市道整備の考え方との整合		判断のための7つの視点と整合を確認 ※整合していない場合は、基本的に以下の評価は行わない	—
4. 整備順位評価			—
事業効果	市道整備の考え方との整合	判断のための7つの視点との整合数を確認	35
	緊急性の有無	一般交通への支障の有無により判断	30
	利用頻度の有無	現況又は整備後の交通量の増加の有無により判断	10
事業効率	用地買収の有無	用地買収の有無により判断 ※用地買収への協力が前提	10
	補償物件の有無	補償物件の有無により判断 ※補償物件の種類も確認	5
	放流先の有無	放流先の有無により判断	5
	埋設物の有無	埋設管の有無により判断 ※既存管の有無も確認	5
	設計発注の有無	設計業務の発注の有無により判断	10

### 3) 評価シートの作成

陳情番号	令和6年度	1
------	-------	---

## 市道整備に係る評価シート

### 1. 基本情報

職員入力欄

自動入力欄

★は選択式

受付日	年 月 日	行政区★	岩瀬東第1区
路線番号(半角)	0101 ※1級：01+路線番号、2級：02+路線番号、その他路線：W(岩瀬)・Y(大和)・M(真壁)+路線番号 要望路線が複数の市道に跨る場合は、延長の長い路線で整理すること		
申請者		申請者電話番号	
申請者住所			
対応部署		対応者	
陳情区分★	道路改良(拡幅整備)	陳情区間の延長	m
陳情内容			
同意書の有無★	有	地権者数	人 / 人
土地の協力★	有	地権者数	人 / 人
	※一人でも反対の場合は“無”を選択		

### 2. 路線情報

幅員(標準)	延長6_5m以上	延長	2,344.97 m
舗装の有無★	有	路面評価★	1
側溝の有無★	有	過去の補修履歴★	無
整備計画の有無★	有		

### 3. 桜川市市道整備の考え方との整合

ネットワーク性	○	安全性	○
生活利便性	○	まちなかの利便性	○
持続的なまちづくり	○	まちなかのみちづくり	○
地域特性	○	整合数	7

整合結果	整合
------	----

※上記「整合結果」が“整合”→裏面の整備順位評価へ進む  
“不整合”→特別な事情等により緊急性が高い案件以外は保留

陳情番号	令和6年度	1
------	-------	---

#### 4. 整備順位評価

職員入力欄

自動入力欄

★は選択式

##### ■事業効果

評価項目	評価基準	配点	評価点
①整備の考え方との整合 ※整合数×5点	整合	35	35
②緊急性★	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い	30	30
	<input type="checkbox"/> 緊急性は低い、一般通行に支障がある	15	0
	<input type="checkbox"/> 緊急性が低い	0	0
③利用頻度★	<input type="checkbox"/> 現況から交通量が多い	10	10
	<input type="checkbox"/> 現況交通量は少ないが、整備後は増加が見込まれる	5	0
	<input type="checkbox"/> 現況交通量は少なく、整備後も増加が見込まれない	0	0

※上記②～③の項目について、評価基準に基づき該当するものに✓入力

##### ■事業効率

評価項目	評価基準	配点	評価点
①用地買収★	<input type="checkbox"/> なし	10	10
	<input type="checkbox"/> 必要（ 人 / m <sup>2</sup> ）	0	0
②補償物件★ 補償物件が有の場合、複数選択	<input type="checkbox"/> なし	5	5
	<input type="checkbox"/> 電柱補償が必要（ 本）	0	0
	<input type="checkbox"/> 工作物・立木補償が必要（ 箇所 / 本）	0	0
	<input type="checkbox"/> 家屋補償が必要（ 棟）	0	0
③放流先★	<input type="checkbox"/> 雨水処理流末あり	5	5
	<input type="checkbox"/> 雨水処理流末なし	0	0
④埋設物★	<input type="checkbox"/> 埋設管の新設なし	5	5
	<input type="checkbox"/> 埋設管の新設が必要 （上水道・下水道・電線・その他）	0	0
	<input type="checkbox"/> 既設埋設管があるが、新設・布設替え等は必要なし （上水道・下水道・電線・その他）	0	0
	<input type="checkbox"/> 既設埋設管があり、新設・布設替え等も必要 （上水道・下水道・電線・その他）	0	0
⑤設計発注★	<input type="checkbox"/> 設計業務の発注なし	10	10
	<input type="checkbox"/> 設計業務の発注あり	0	0

※上記①～⑤の項目について、評価基準に基づき該当するものに✓入力

##### ■評価結果

評価結果（コメント）	合計 110点満点中	110点
------------	---------------	------

## ■評価シートの入力に関する補足

### 1. 基本情報

- ①陳情番号：入力  
→年度、年度毎の連番を入力
- ②受付日：入力
- ③行政区：入力・選択式  
→対象の行政区を選択
- ④路線番号：入力  
→路線番号を入力することで路線の基本データが評価シートに反映  
※1級：01+路線番号、2級：02+路線番号  
その他路線：W(岩瀬)・Y(大和)・M(真壁)+路線番号  
※要望路線が複数の市道に跨る場合は、延長の長い市道の路線番号を入力
- ⑤申請者：入力
- ⑥申請者電話番号：入力
- ⑦申請者住所：入力
- ⑧対応部署：入力
- ⑨対応者：入力
- ⑩陳情区分：入力・選択式  
→該当する区分を選択
- ⑪陳情区間の延長：入力
- ⑫陳情内容：入力
- ⑬同意書の有無：入力・選択式
- ⑭地権者数：入力
- ⑮土地の協力：入力・選択式
- ⑯地権者数：入力

### 2. 路線情報

- ①幅員（標準）：自動入力
- ②延長：自動入力
- ③舗装の有無：入力・選択式
- ④路面評価：入力・選択式  
→既存調査資料による路面評価を入力
- ⑤側溝の有無：入力・選択式
- ⑥過去の補修履歴：入力・選択式
- ⑦整備計画の有無：入力・選択式

### 3. 桜川市市道整備計画の考え方との整合

→路線番号を入力することで“判断のための7つの視点”に合致しているか反映  
※情報は令和7年1月30日時点のもの

- ①ネットワーク性：自動入力
- ②まちづくり：自動入力
- ③まちづくり（市街化区域）：自動入力
- ④安全性：自動入力
- ⑤利便性：自動入力
- ⑥利便性（市街化区域）：自動入力
- ⑦地域特性：自動入力
- ⑧整合数：自動入力
- ⑨整合結果：自動入力

※「整合結果」が“整合”→裏面の整備順位評価へ進む

“不整合”→特別な事情等により緊急性が高い案件以外は保留

#### 4. 整備順位評価

##### ■事業効果

- ①整備の考え方との整合：自動入力  
→前項の結果が反映され整合数×5点で配点
- ②緊急性：入力・選択式  
→緊急性について評価基準に基づき選択
- ③利用頻度：入力・選択式  
→利用頻度について評価基準に基づき選択

##### ■事業効果

- ①用地買収：入力・選択式  
→用地買収について評価基準に基づき選択
- ②補償物件：入力・選択式  
→補償物件について評価基準に基づき選択
- ③放流先：入力・選択式  
→放流先について評価基準に基づき選択
- ④埋設物：入力・選択式  
→埋設物について評価基準に基づき選択
- ⑤設計発注：入力・選択式  
→設計発注について評価基準に基づき選択

##### ■評価結果

- ①評価結果コメント：入力  
→評価点（自動計算）を踏まえ市道整備の実施・検討・保留を評価

